



「農山漁村活性化事例集」

平成29年度



平成29年12月
九州農政局 農村振興部 農村計画課

はじめに

農林水産省は、内閣官房とともに「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図る「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」を実施しました。

第4回目となる平成29年度については、平成29年10月24日に31団体（九州から3団体）が「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として選定されました。

また、九州農政局管内には数多くの優良な地区があることから、九州から応募のあった団体の中から、平成29年11月22日に九州農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として、10団体を選定しました。

これらを含め管内の応募団体においては、農山漁村の美しい景観や伝統文化、農林水産物、ジビエなどの地域資源を生かし、農泊・インバウンド・教育旅行等の受入れ、6次産業化、食の提供、地産地消など多様な取組が、女性、高齢者などの活躍や幅広い分野との連携により展開されており、農山漁村の活性化に向け、他の地域の取組の参考となるものです。

このため、九州から応募のあった104団体の取組について、このほど「農山漁村活性化事例集（H29）」としてとりまとめ、公表することとしました。九州の各地域において、この事例集も参考にして頂き、地域活性化、所得向上への取組が広まり、加速化していくことを期待します。

※本事例集及び過年度の選定事例の概要は九州農政局のホームページ（下記）に掲載していますので、ご参照ください。

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/keikaku/discover/discover.html>

九州農政局 農山漁村活性化事例集(H29)目次

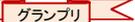
| 県 | No. | 市町村 | 団体名 | 該当する取り組み | | |
|-----|-----|--------------|------------------------------|-----------|--------------|-------------|
| 福岡県 | 1 | 北九州市 | 箸休め ゆず香 | 6次産業化 | 伝統・継承 | 地産地消 |
| | 2 | 北九州市 | 猪倉農業関連プロジェクト | 地産地消 | 6次産業化 | 高齢者の活躍 |
| | 3 | 八女市 | 八女商工会議所 | ジビエ | 地産地消 | 鳥獣被害防止 |
| | 4 | 八女市 | 八女地域連携協議会 ㊹ ★ | 国内観光 | インバウンド | 伝統・継承 |
| | 5 | 八女市 | がんばりよるよ星野村 ㊹ | 自然・景観 | 6次産業化 | 定住・移住 |
| | 6 | 八女市 | 星野村農産加工施設「星野の里」利用組合 | 6次産業化 | 伝統・継承 | 高齢者の活躍 |
| | 7 | 豊前市 | 豊築漁業協同組合 | 「食」の提供・活用 | 6次産業化 | 女性の活躍 |
| | 8 | 豊前市 | 枝川内あじさい祭り実行委員会 | 自然・景観 | 国内観光 | 「食」の提供・活用 |
| | 9 | 小郡市 | 小郡 星の会 | 伝統・継承 | 6次産業化 | 女性の活躍 |
| | 10 | 福津市 | あんずの里市利用組合 | 地産地消 | 「食」の提供・活用 | 他産地との連携 |
| | 11 | うきは市 | つづら棚田を守る会 | 自然・景観 | 国内観光 | 「食」の提供・活用 |
| | 12 | うきは市 | 楠森堂 | 伝統・継承 | 自然・景観 | 「食」の提供・活用 |
| | 13 | 大木町 | 農事組合法人 モア・ハウス | 6次産業化 | 女性の活躍 | 新規就農支援 |
| 佐賀県 | 14 | 佐賀市 | 農家民宿 具座 ㊹ | 農泊 | インバウンド | 地産地消 |
| | 15 | 唐津市 | 蕨野集落 | 自然・景観 | 「食」の提供・活用 | 大学・企業との連携 |
| | 16 | 多久市 | 社会福祉法人 もやいの会 ㊹ | 医療・福祉 | 6次産業化 | 輸出 |
| | 17 | 多久市 | ひらの棚田米振興協議会 ★ | 6次産業化 | 自然・景観 | 「食」の提供・活用 |
| | 18 | 伊万里市 | 波多津町まちづくり運営協議会 | 自然・景観 | 「食」の提供・活用 | 地産地消 |
| | 19 | 鹿島市 | 北鹿島ふるさと会 | 自然・景観 | 子ども(教育・体験) | 農地・水路・道路の管理 |
| | 20 | 小城市 | 江里山棚田米生産組合 | 自然・景観 | 6次産業化 | 高齢者の活躍 |
| | 21 | 嬉野市 | 嬉野温泉湯どうふ振興協議会 | 伝統・継承 | 「食」の提供・活用 | 地産地消 |
| 22 | 基山町 | 株式会社 きやまファーム | ジビエ | 6次産業化 | 鳥獣被害防止 | |
| 長崎県 | 23 | 長崎市 | やったろうde高島 | 自然・景観 | 農泊 | 「食」の提供・活用 |
| | 24 | 長崎市 | 戸石フレッシュ朝市運営協議会 | 地産地消 | 「食」の提供・活用 | 国内観光 |
| | 25 | 諫早市 | 社会福祉法人じゅもん会 | 医療・福祉 | 地域と福祉とエコをつなぐ | - |
| | 26 | 大村市 | 株式会社ふれあいファーム(農事組合法人) | 医療・福祉 | 子ども(教育・体験) | 高齢者の活躍 |
| | 27 | 平戸市 | 根獅子集落機能再編協議会 ㊹ | 「食」の提供・活用 | 6次産業化 | 農林業体験 |
| | 28 | 松浦市 | 一般社団法人 まつうら党交流公社 | 農泊 | 子ども(教育・体験) | - |
| | 29 | 対馬市 | 峰東女性部キッチン | 「食」の提供・活用 | 地産地消 | 女性の活躍 |
| | 30 | 対馬市 | 対馬グリーン・ブルーツーリズム協会 ㊹ | 農泊 | インバウンド | 子ども(教育・体験) |
| | 31 | 五島市 | 地のもん工房 増栄丸 | 「食」の提供・活用 | 雇用 | 女性の活躍 |
| | 32 | 西海市 | 大宮・西海食の交流促進協議会 | 「食」の提供・活用 | 地産地消 | - |
| | 33 | 西海市 | 山と海の郷さいかい | 農泊 | 「食」の提供・活用 | 女性の活躍 |
| | 34 | 南島原市 | 一般社団法人 南島原ひまわり観光協会 ㊹ | 農泊 | インバウンド | 子ども(教育・体験) |
| | 35 | 東彼杵町 | 東そのぎグリーンティーズ協議会 | インバウンド | 農泊 | 自然・景観 |
| | 36 | 波佐見町 | 波佐見東地域集落活性化協議会 | 地産地消 | 「食」の提供・活用 | 自然・景観 |
| | 37 | 小値賀町 | 特定非営利法人 おちかアイランドツーリズム協会 | 農泊 | 国内観光 | 子ども(教育・体験) |
| | 38 | 新上五島町 | 郷土料理研究会 | 伝統・継承 | 「食」の提供・活用 | 女性の活躍 |
| 熊本県 | 39 | 熊本市 | くまもとジビエ研究会 ㊹ | ジビエ | 6次産業化 | - |
| | 40 | 熊本市 | 天明環境保全隊 | 自然・景観 | 伝統・継承 | 子ども(教育・体験) |
| | 41 | 八代市 | 農事組合法人 鶴喰なの花村 | 自然・景観 | 6次産業化 | 高齢者の活躍 |
| | 42 | 八代市 | やつしろ菜の花ファーム987 ㊹ | 6次産業化 | 子ども(教育・体験) | 伝統・継承 |
| | 43 | 八代市 | 五家荘宿の会 | 6次産業化 | 伝統・継承 | 高齢者の活躍 |
| | 44 | 水俣市 | 水俣市久木野地域振興会 | 自然・景観 | 「食」の提供・活用 | 地産地消 |
| | 45 | 宇土市 | 宇土飯を喰らう会 | 「食」の提供・活用 | 自然・景観 | 地産地消 |
| | 46 | 上天草市 | 老岳集落 | 自然・景観 | 6次産業化 | 子ども(教育・体験) |
| | 47 | 阿蘇市 | NPO法人 ASO田園空間博物館 ★ > グランプリ < | インバウンド | 6次産業化 | 復興 |
| | 48 | 阿蘇市 | 草原再生オペレーター組合 | 自然・景観 | 伝統・継承 | 雇用 |
| | 49 | 阿蘇市 | 公益財団法人 阿蘇グリーンストック | 自然・景観 | 伝統・継承 | 農泊 |
| | 50 | 阿蘇市 | 株式会社 神楽苑 なみの高原やすらぎ交流館 | 「食」の提供・活用 | 子ども(教育・体験) | 復興 |
| | 51 | 合志市 | 「合志あぐつと!村」運営協議会 | 地産地消 | 「食」の提供・活用 | 子ども(教育・体験) |
| | 52 | 美里町 | 水上迫生活研究グループ | 「食」の提供・活用 | 女性の活躍 | 伝統・継承 |
| | 53 | 大津町 | 真木地区協議会 | 自然・景観 | 女性の活躍 | 高齢者の活躍 |
| | 54 | 菊陽町 | 株式会社 熊本玄米研究所 | 6次産業化 | 「食」の提供・活用 | 地産地消 |
| | 55 | 高森町 | ひごむらさきブランド化研究会 | 地産地消 | 子ども(教育・体験) | - |

| 県 | No. | 市町村 | 団体名 | 該当する取り組み | | |
|------|-----|--------------|--------------------------------|------------|-------------|-------------|
| 熊本県 | 56 | 高森町 | 阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会 | 伝統・継承 | 自然・景観 | 雇用 |
| | 57 | 甲佐町 | パワフル母ちゃん | 地産地消 | 女性の活躍 | - |
| | 58 | 山都町 | NPO法人 山都のやまんまの会 | 「食」の提供・活用 | 子ども(教育・体験) | 女性の活躍 |
| | 59 | 湯前町 | 幸野溝土地改良区 | 子ども(教育・体験) | 「食」の提供・活用 | 農地・水路・道路の管理 |
| | 60 | 湯前町 | 国産材品質表示推進協議会SSDプロジェクト | 6次産業化 | 雇用 | - |
| | 61 | 水上村 | 湯山温泉旅館組合 | ジビエ | 6次産業化 | 地産地消 |
| | 62 | 球磨村 | 田舎の体験交流館さんがうら運営委員会 | 「食」の提供・活用 | 6次産業化 | 女性の活躍 |
| | 63 | あさぎり町 | 中山間松尾集落 | 自然・景観 | 6次産業化 | 鳥獣被害防止 |
| 64 | 苓北町 | みどりの会 | 自然・景観 | 高齢者の活躍 | インバウンド | |
| 大分県 | 65 | 大分市 | 国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会 | 伝統・継承 | 国内観光 | 子ども(教育・体験) |
| | 66 | 別府市 | 内成の「棚田とむらづくり」を考える会 | 自然・景観 | 農泊 | 国内観光 |
| | 67 | 中津市 | 浜の輪フレンド | 「食」の提供・活用 | 子ども(教育・体験) | 女性の活躍 |
| | 68 | 佐伯市 | 進水式を推進する会 | 国内観光 | 企業 | 雇用 |
| | 69 | 佐伯市 | 漁村女性グループめばる | 伝統・継承 | 「食」の提供・活用 | 女性の活躍 |
| | 70 | 臼杵市 | うすきツアーリズム活性化協議会 | 農泊 | 伝統・継承 | 定住・移住 |
| | 71 | 臼杵市 | 栗手原資源保全推進協議会 | 自然・景観 | 伝統・継承 | 子ども(教育・体験) |
| | 72 | 豊後高田市 | 豊後高田市グリーンツアーリズム推進協議会 | 農泊 | インバウンド | 伝統・継承 |
| | 73 | 杵築市 | The Japan Travel Company株式会社 ㉑ | インバウンド | 自然・景観 | 雇用 |
| | 74 | 宇佐市 | 深見地区まちづくり協議会 | 自然・景観 | 「食」の提供・活用 | 少子高齢化対策 |
| | 75 | 宇佐市 | 岩崎農地水環境保全組合 | 自然・景観 | 子ども(教育・体験) | 農地・水路・道路の管理 |
| | 76 | 豊後大野市 | 大野町みどり広域協定 | 自然・景観 | 農地・水路・道路の管理 | - |
| | 77 | 豊後大野市 | あねさん工房株式会社 | 自然・景観 | 6次産業化 | 雇用 |
| | 78 | 国東市 | 地域起こし協議会 文溪里の会 | 自然・景観 | 伝統・継承 | 国内観光 |
| 79 | 国東市 | くにさき七島蘭振興会 ㉒ | 伝統・継承 | 6次産業化 | 定住・移住 | |
| 80 | 九重町 | 千町無田資源保全組合 | 自然・景観 | 高齢者の活躍 | 農地・水路・道路の管理 | |
| 宮崎県 | 81 | 都城市 | 農事組合法人 きらり農場高木 生活部加工班 ㉓ | 6次産業化 | 伝統・継承 | 子ども(教育・体験) |
| | 82 | 都城市 | 有限会社 徳重紅梅園 | 自然・景観 | 6次産業化 | 「食」の提供・活用 |
| | 83 | 小林市ほか | 北きりしま田舎物語推進協議会 | 農泊 | インバウンド | 子ども(教育・体験) |
| | 84 | 日向市 | 財光寺農業小学校 | 子ども(教育・体験) | 高齢者の活躍 | - |
| | 85 | 三股町 | 霧島会 | 6次産業化 | 高齢者の活躍 | 農商工連携 |
| | 86 | 高鍋町 | 四季彩のむら | 自然・景観 | 伝統・継承 | 子ども(教育・体験) |
| | 87 | 高鍋町 | 染ヶ岡地区環境保全協議会 | 自然・景観 | 国内観光 | 復興 |
| | 88 | 西米良村 | 小川作小屋村運営協議会 | 「食」の提供・活用 | 自然・景観 | 高齢者の活躍 |
| | 89 | 木城町 | 駄留集落 | 自然・景観 | 鳥獣被害防止 | ジビエ |
| | 90 | 川南町 | チームがはは | 「食」の提供・活用 | 地産地消 | 女性の活躍 |
| | 91 | 高千穂町 | 合同会社 あまてらすの娘たち | 「食」の提供・活用 | 伝統・継承 | 女性の活躍 |
| | 92 | 五ヶ瀬町 | 特定非営利法人 五ヶ瀬自然学校 ㉔ | 自然・景観 | 子ども(教育・体験) | 復興 |
| 鹿児島県 | 93 | 出水市 | いずみ民泊体験推進協議会 ㉕ | 農泊 | インバウンド | 子ども(教育・体験) |
| | 94 | 薩摩川内市 | 薩摩川内市GT推進協議会 | 農泊 | 「食」の提供・活用 | - |
| | 95 | 日置市 | NPO法人 がんばろう高山 | 「食」の提供・活用 | 子ども(教育・体験) | 高齢者の活躍 |
| | 96 | 霧島市 | 佳例川地区自治公民館 | 伝統・継承 | 「食」の提供・活用 | 地産地消 |
| | 97 | 南さつま市 | 特定非営利法人 エコ・リンク・アソシエーション ㉖ | 農泊 | 子ども(教育・体験) | 「食」の提供・活用 |
| | 98 | 南さつま市 | 株式会社 南風ベジファーム ㉗ | 6次産業化 | 医療・福祉 | 雇用 |
| | 99 | さつま町 | 中津川区むらづくり委員会 | 自然・景観 | 伝統・継承 | 自主財源づくり |
| | 100 | 屋久島町 | 合同会社 89298.com | ジビエ | 6次産業化 | 鳥獣被害防止 |
| | 101 | 屋久島町 | 株式会社 屋久島宮之浦加工グループ | 地産地消 | 子ども(教育・体験) | 女性の活躍 |
| | 102 | 喜界町 | 合同会社 喜界島 結い | 6次産業化 | 女性の活躍 | - |
| | 103 | 喜界町 | 喜界町農産物加工センター | 6次産業化 | 伝統・継承 | 地域振興 |
| | 104 | 伊仙町 | 阿権むらづくり委員会 | 子ども(教育・体験) | 自然・景観 | インバウンド |

※「★」:「ディスカバーむらの宝(第4回)」に選定、「㉒」:「H28九州農政局むらの宝」に選定、「㉓」:「H29九州農政局むらの宝」に選定

九州農政局 農山漁村活性化事例集(H29)目次(主な取組別)

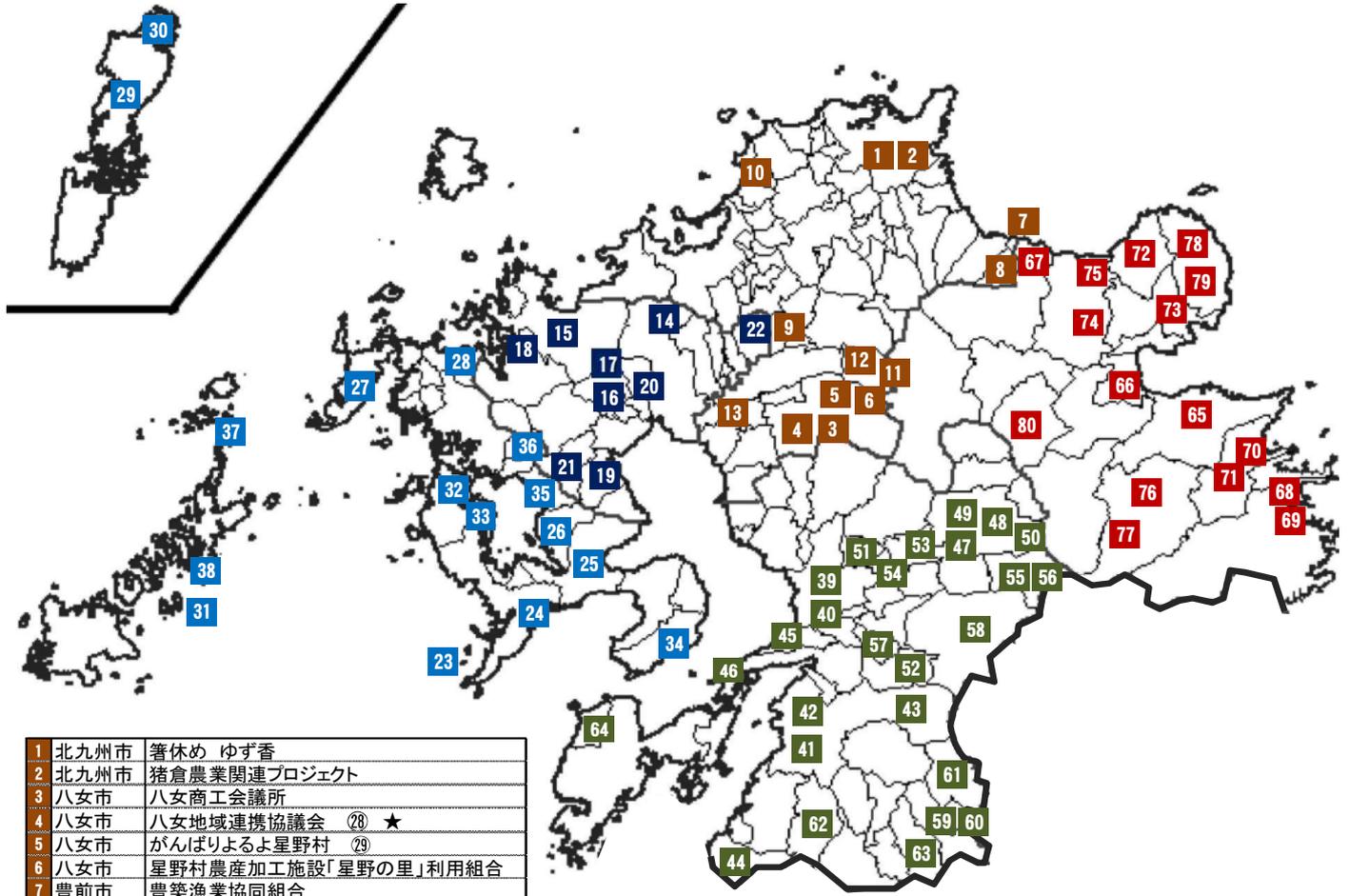
| 主な取組 | No. | 市町村 | 団体名 | キャッチフレーズ |
|-------|-------|---------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| ジビエ | 3 | 八女市 | 八女商工会議所 | 八女から伝える 山の食文化の復興! |
| | 22 | 基山町 | 株式会社 きやまファーム | エミュで「一石二鳥」 |
| | 39 | 熊本市 | くまもとジビエ研究会 ㉑ | 地域の”やっかいもの”を”美味しいもの”へ! |
| | 61 | 水上村 | 湯山温泉旅館組合 | ジビエがアスリートを強くする 鉄脚!水上村 |
| | 100 | 屋久島町 | 合同会社 89298.com | ヤクシカ ゼロ・エミッション |
| 6次産業化 | 1 | 北九州市 | 箸休め ゆず香 | 平尾台特産、ユズのおつまみ/箸休(はしやす)め ゆず香(か) |
| | 6 | 八女市 | 星野村農産加工施設「星野の里」利用組合 | 頑張り続ける気持ちとヤル気が村の宝です。 |
| | 13 | 大木町 | 農事組合法人 モア・ハウス | 女性が輝く、九州屈指のきのこ産地! |
| | 17 | 多久市 | ひらの棚田米振興協議会 ★ | 孔子の流れは棚田に注ぐ賢い子供の棚田米 |
| | 42 | 八代市 | やつしろ菜の花ファーム987 ㉒ | い草・畳表(畳)の継承と菜の花プロジェクト |
| | 43 | 八代市 | 五家荘宿の会 | 五家荘の宝を地域の誇りへ |
| | 54 | 菊陽町 | 株式会社 熊本玄米研究所 | 農村に黄金の笑顔を! 米の消費拡大を応援します!! |
| | 60 | 湯前町 | 国産材品質表示推進協議会SSDプロジェクト | 球磨材高付加価値商品の販売による地域貢献 |
| | 81 | 都城市 | 農事組合法人 きらり農場高木 生活部加工班 ㉓ | ”キラリ”と輝く 大地の恵み |
| | 85 | 三股町 | 霧島会 | 国内需給率0.1%の国産ごま生産への挑戦 |
| | 98 | 南さつま市 | 株式会社 南風ベジファーム ㉔ | 6次産業化+福祉で地方の問題を解決! |
| | 102 | 喜界町 | 合同会社 喜界島 結い | キラリと輝く島の食の継承としま興し |
| | 103 | 喜界町 | 喜界町農産物加工センター | 在来農産物を活かし、キラリと輝く島へ |
| 地産地消 | 2 | 北九州市 | 猪倉農業関連プロジェクト | 学生が酒造? 地域と築くシビックプライド! |
| | 10 | 福津市 | あんずの里市利用組合 | No.1ではなく、オンリー1を目指す! |
| | 24 | 長崎市 | 戸石フレッシュ朝市運営協議会 | 新鮮な旬の農水産物の販売による地域活性化 |
| | 36 | 波佐見町 | 波佐見東地域集落活性化協議会 | 陶・農の里 はさみ |
| | 51 | 合志市 | 「合志あぐっと!村」運営協議会 | 都市と農村の交流による魅力発信活動 |
| | 55 | 高森町 | ひごむらさきブランド化研究会 | 阿蘇の大地に恵まれた肥後一番の旬の味 |
| | 57 | 甲佐町 | パワフル母ちゃん | 閉校校舎を活用して、地域をパワフルに! |
| 101 | 屋久島町 | 株式会社 屋久島宮之浦加工グループ | 世界自然遺産の島のこだわりを食卓へ | |
| 医療・福祉 | 16 | 多久市 | 社会福祉法人 もやいの会 ㉕ | 働きたいをカタチに一農福連携の試み |
| | 25 | 諫早市 | 社会福祉法人じゅもん会 | 熱中症対策は福祉農園の社会貢献から |
| | 26 | 大村市 | 株式会社ふれあいファーム(農事組合法人) | 自分の持っているすばらしい力をイキイキと活かせる場所 |
| 農泊 | 14 | 佐賀市 | 農家民宿 具座 ㉖ | 本当の田舎三瀬 ここから世界へ! |
| | 28 | 松浦市 | 一般社団法人 まつうら党交流公社 | 松浦党の里ほんなもん体験 |
| | 30 | 対馬市 | 対馬グリーン・ブルーツーリズム協会 ㉗ | 暮らしの原点を見つめ直す旅 |
| | 33 | 西海市 | 山と海の郷さいかい | 農泊で地域が輝く!町の人が輝きを取り戻して帰って行く! |
| | 34 | 南島原市 | 一般社団法人 南島原ひまわり観光協会 ㉘ | 地域が光輝く観光地を目指して |
| | 37 | 小値賀町 | 特定非営利法人 おちかアイランドツーリズム協会 | 暮らすように旅をする『おちか島旅』 |
| | 70 | 臼杵市 | うすきツーリズム活性化協議会 | 臼杵時間、体感!プロジェクト |
| | 72 | 豊後高田市 | 豊後高田市グリーンツーリズム推進協議会 | 国東半島の農家民泊と日本文化でおもてなし |
| | 83 | 小林市ほか | はきりしま田舎物語推進協議会 | はじめまして!の後は、もう家族 |
| | 93 | 出水市 | いずみ民泊体験推進協議会 ㉙ | 観光と連携し、田舎にインバウンドの風を |
| 94 | 薩摩川内市 | 薩摩川内市GT推進協議会 | 地域資源を活用した「実」カ・「味」カ・「me」カアップの取り組み | |
| 97 | 南さつま市 | 特定非営利法人 エコ・リンク・アソシエーション ㉚ | アートプロジェクトと農家民泊事業ならおまかせ | |
| 自然・景観 | 5 | 八女市 | がんばりよるよ星野村 ㉛ | 都市との協働で災害復旧から地域復興へ! |
| | 8 | 豊前市 | 枝川内あじさい祭り実行委員会 | ちいさな村の大きな挑戦!日本一のアジサイランド |
| | 11 | うきは市 | つづら棚田を守る会 | 多様な主体によって守られる棚田の景観 |
| | 15 | 唐津市 | 蕨野集落 | 先人が残した貴重な宝(棚田)を未来につなぐために |
| | 18 | 伊万里市 | 波多津町まちづくり運営協議会 | 豊かな大地と海を活かし、新たな価値を創る |
| | 19 | 鹿島市 | 北鹿島ふるさと会 | 故郷の農村環境は ふるさとで守ろう |
| | 20 | 小城市 | 江里山棚田米生産組合 | 棚田と彼岸花の里 江里山 |
| | 23 | 長崎市 | やっつらうde高島 | 商標登録で進化する「シュノーケリングピクニック」 |
| | 40 | 熊本市 | 天明環境保全隊 | 守り伝えよう地域の環境と文化 地域、学校教育、福祉との連携 |
| | 41 | 八代市 | 農事組合法人 鶴喰なの花村 | 鶴喰のおばあちゃんのおにぎりはでっかい。 |
| | 44 | 水俣市 | 水俣市久木野地域振興会 | 日本一の棚田(自称)のむらづくり |
| | 46 | 上天草市 | 老岳集落 | 小さな農村のみんなで作る!住民総活躍地域 |
| | 48 | 阿蘇市 | 草原再生オペレーター組合 | 世界農業遺産認定の阿蘇の草原を守りたい! |
| | 49 | 阿蘇市 | 公益財団法人 阿蘇グリーンストック | 阿蘇への恩返し |
| | 53 | 大津町 | 真木地区協議会 | 豊かな緑と湧水・歴史に薫る元気な里山 |

| 主な取組 | No. | 市町村 | 団体名 | キャッチフレーズ |
|------------|------|---------------|--|---------------------------------|
| 自然・景観 | 63 | あさぎ町 | 中山間松尾集落 | 遠山桜の再生と松尾集落の生き残り戦略 |
| | 64 | 苓北町 | みどりの会 | 天草に天竺(てんじく)がある |
| | 66 | 別府市 | 内成の「棚田とむらづくり」を考える会 | 日本の原風景が語る内成棚田の魅力とパワー |
| | 71 | 臼杵市 | 栗手原資源保全推進協議会 | こころの故郷栗手原(かかし祭りをとおしての地域交流) |
| | 74 | 宇佐市 | 深見地区まちづくり協議会 | 地域の未来 地域で考え、地域で行動 |
| | 75 | 宇佐市 | 岩崎農地水環境保全組合 | 集落内へ水を入れない、入ったらすぐに出す |
| | 76 | 豊後大野市 | 大野町みどり広域協定 | 花の社会性が地域を変える |
| | 77 | 豊後大野市 | あねさん工房株式会社 | 地味こそ地の味！里山からの贈り物 |
| | 78 | 国東市 | 地域起こし協議会 文溪里の会 | 自然が活き、人が活き、地域が活きる文溪 |
| | 80 | 九重町 | 千町無田資源保全組合 | 高原の美しい田園風景を後世に |
| | 82 | 都城市 | 有限会社 徳重紅梅園 | 無農薬生産、無添加加工品を消費者へ直売 |
| | 86 | 高鍋町 | 四季彩のむら | 昭和30年代の風景が残る、彩りあふれる里山 |
| | 87 | 高鍋町 | 染ヶ岡地区環境保全協議会 | きやべつ畑のひまわり祭り |
| | 89 | 木城町 | 駄留集落 | 一人はみんなのため、みんなは一人のため、出来る事から始めよう |
| | 92 | 五ヶ瀬町 | 特定非営利法人 五ヶ瀬自然学校 ㉘ | 日本一の清流五ヶ瀬川上流で行う持続可能なムラづくり |
| 99 | さつま町 | 中津川区むらづくり委員会 | まだまだ、道半ば……。伝統を引き継ぐ”中津川の底力！” | |
| 伝統・継承 | 9 | 小郡市 | 小郡 星の会 | 農業とものづくり文化のこだわり発信 |
| | 12 | うきは市 | 楠森堂 | あるものを活かし魅力発信！地域に元氣と誇りを！ |
| | 21 | 嬉野市 | 嬉野温泉湯どうふ振興協議会 | とろーり嬉野名物「嬉野温泉湯どうふ」 |
| | 38 | 新上五島町 | 郷土料理研究会 | 郷土料理研究会 |
| | 56 | 高森町 | 阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会 | 神々が宿る木～阿蘇南郷檜～ |
| | 65 | 大分市 | 国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会 | 次代へ繋げよう！世界農業遺産の輪 |
| | 69 | 佐伯市 | 漁村女性グループめばる | ソウルフードごまだして、佐伯に元氣を！！ |
| | 79 | 国東市 | くにさき七島蘭振興会 ㉙ | 貧乏草から長者草、埋もれた宝が地域を変える |
| | 96 | 霧島市 | 佳例川地区自治公民館 | 百年の眠りから覚めた幻のサツマ芋「蔓無源氏(つるなしげんじ)」 |
| 「食」の提供・活用 | 7 | 豊前市 | 豊築漁業協同組合 | 「本物の獲れたて」豊前の魚で地域おこし |
| | 27 | 平戸市 | 根獅子集落機能再編協議会 ㉚ | 根獅子発！小さな集落の小さな循環型プロジェクト |
| | 29 | 対馬市 | 峰東女性部キッチン | 対馬の魚ば子供たちに食べてもらおう！ |
| | 31 | 五島市 | 地のもん工房 増栄丸 | 島の幸を生かした 新鮮・手作り惣菜 |
| | 32 | 西海市 | 大宮・西海食の交流促進協議会 | 食を通じて二つの地域を繋げ問題解決 |
| | 45 | 宇土市 | 宇土飯を喰らう会 | 宇土の生産物を宇土の景観の中で喰らう！ |
| | 50 | 阿蘇市 | 株式会社 神楽苑 なみの高原やすらぎ交流館 | ムラが輝き、夢広がる地域の創造！ |
| | 52 | 美里町 | 水上迫生活研究グループ | スコップの音と共に、集落一丸の地域活動 |
| | 58 | 山都町 | NPO法人 山都のやまんまの会 | 合言葉は「A」明るく！「T」為になる！「M」前向きに！ |
| | 62 | 球磨村 | 田舎の体験交流館さんがうら運営委員会 | 蕎麦ではじまる 地域の元氣 |
| | 67 | 中津市 | 浜の輪フレンド | ふるさと中津の食品を食卓に！ |
| | 88 | 西米良村 | 小川作小屋村運営協議会 | 平成の桃源郷 小さな村の大きな挑戦！ |
| | 90 | 川南町 | チームがはは | 《でけたよ～！浜うどん》 |
| | 91 | 高千穂町 | 合同会社 あまてらすの娘たち | 高千穂の、食を伝えよう！食で繋がろう！ |
| 95 | 日置市 | NPO法人 がんばろう高山 | 課題と向き合う地域のちから | |
| 国内観光 | 4 | 八女市 | 八女地域連携協議会 ㉛ ★ | 旅する茶のくに～地域を活かした交流事業～ |
| | 68 | 佐伯市 | 進水式を推進する会 | 進水式の数は負けん！基幹産業造船を観光に |
| インバウンド | 35 | 東彼杵町 | 東そのぎグリーンティーリズム協議会 | 初めて体感する、心地よいお茶のリズム♪ |
| | 47 | 阿蘇市 | NPO法人 ASO田園空間博物館 ★ ㉜  グランプリ | 田園空間博物館の理念で地域おこしと復興を |
| | 73 | 杵築市 | The Japan Travel Company株式会社 ㉝ | インバウンド観光で田舎の継続的な社会を創出 |
| 体験(子ども・教育) | 59 | 湯前町 | 幸野溝土地改良区 | 世界かんがい施設遺産の里「水土里豊かな幸野溝で学ぶ！」 |
| | 84 | 日向市 | 財光寺農業小学校 | さあ、広げよう 農業小学校 |
| | 104 | 伊仙町 | 阿権むらづくり委員会 | 世界自然遺産登録に向けた阿権の宝再発見 |

※「★」:「ディスカバーむらの宝(第4回)」に選定、「㉘」:「H28九州農政局むらの宝」に選定、「㉙」:「H29九州農政局むらの宝」に選定

※前出目次に示す各団体の「該当する取り組み」のうち、主な取り組みにより分類

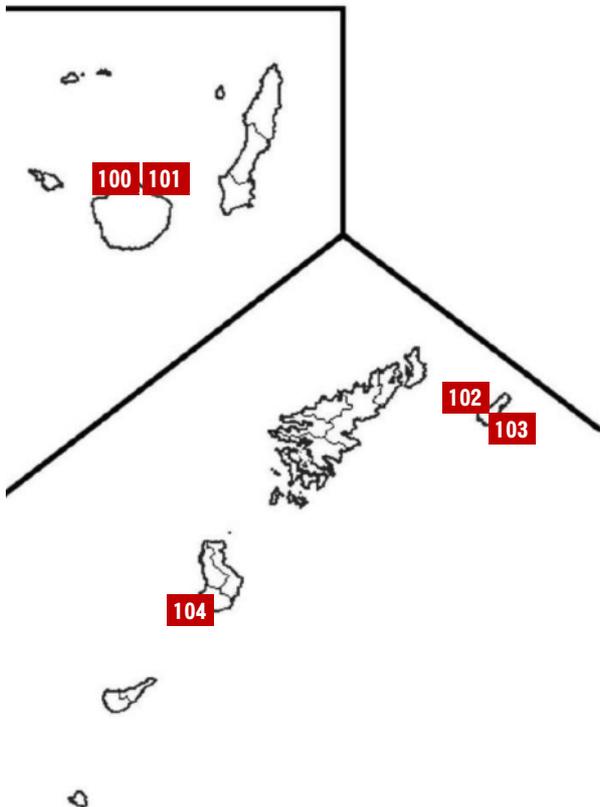
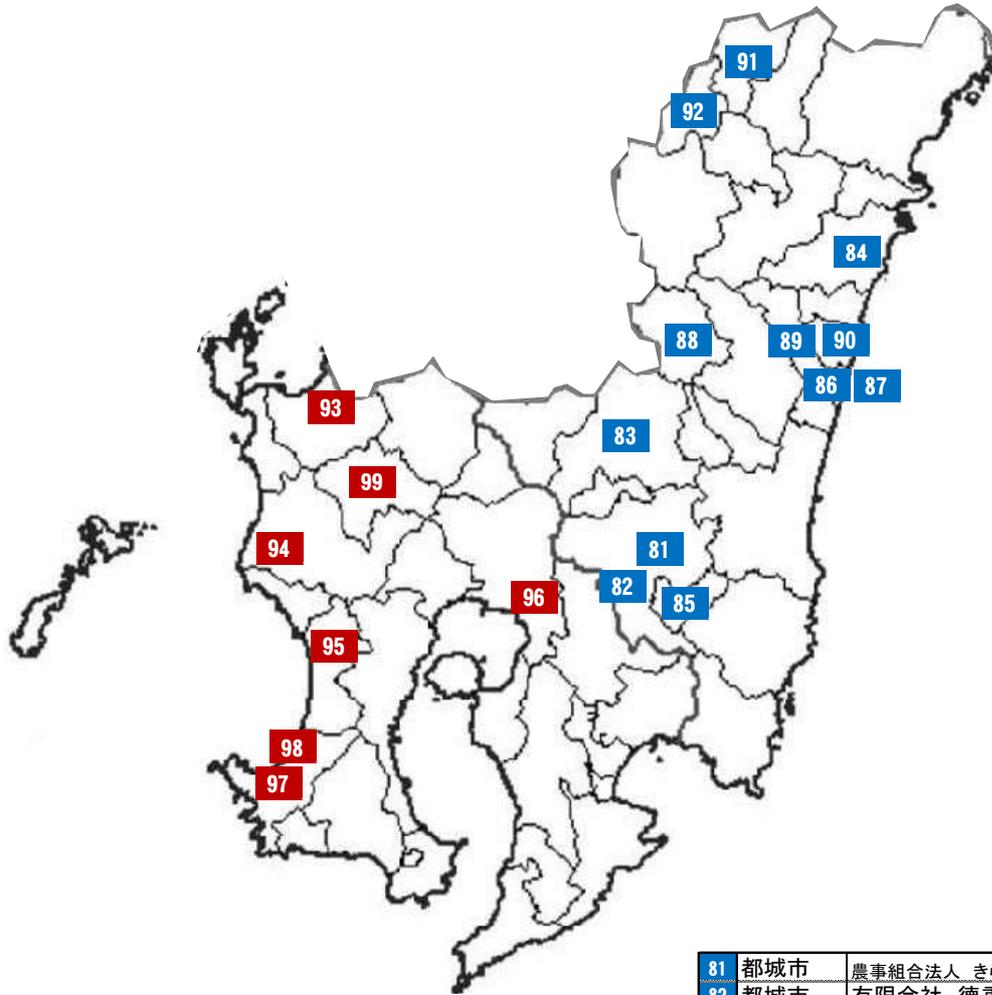
農山漁村活性化事例(H29)位置図(その1)



| | | |
|----|-------|-------------------------|
| 1 | 北九州市 | 箸休め ゆず香 |
| 2 | 北九州市 | 猪倉農業関連プロジェクト |
| 3 | 八女市 | 八女商工会議所 |
| 4 | 八女市 | 八女地域連携協議会 ㉘ ★ |
| 5 | 八女市 | がんばりよるよ星野村 ㉙ |
| 6 | 八女市 | 星野村農産加工施設「星野の里」利用組合 |
| 7 | 豊前市 | 豊築漁業協同組合 |
| 8 | 豊前市 | 枝川内あじさい祭り実行委員会 |
| 9 | 小郡市 | 小郡 星の会 |
| 10 | 福津市 | あんずの里市利用組合 |
| 11 | うきは市 | つづら棚田を守る会 |
| 12 | うきは市 | 楠森堂 |
| 13 | 大木町 | 農事組合法人 モア・ハウス |
| 14 | 佐賀市 | 農家民宿 具座 ㉚ |
| 15 | 唐津市 | 蕨野集落 |
| 16 | 多久市 | 社会福祉法人 もやいの会 ㉛ |
| 17 | 多久市 | ひらの棚田米振興協議会 ★ |
| 18 | 伊万里市 | 波多津町まちづくり運営協議会 |
| 19 | 鹿島市 | 北鹿島ふるさと会 |
| 20 | 小城市 | 江里山棚田米生産組合 |
| 21 | 嬉野市 | 嬉野温泉湯どうふ振興協議会 |
| 22 | 基山町 | 株式会社 きやまファーム |
| 23 | 長崎市 | やったらうde高島 |
| 24 | 長崎市 | 戸石レジン朝市運営協議会 |
| 25 | 諫早市 | 社会福祉法人じゅもん会 |
| 26 | 大村市 | 株式会社ふれあいファーム(農事組合法人) |
| 27 | 平戸市 | 根獅子集落機能再編協議会 ㉜ |
| 28 | 松浦市 | 一般社団法人 まつらう党交流公社 |
| 29 | 対馬市 | 峰東女性部キッチン |
| 30 | 対馬市 | 対馬グリーン・ブルーツーリズム協会 ㉝ |
| 31 | 五島市 | 地のもん工房 増栄丸 |
| 32 | 西海市 | 大宮・西海食の交流促進協議会 |
| 33 | 西海市 | 山と海の郷さいかい |
| 34 | 南島原市 | 一般社団法人 南島原ひまわり観光協会 ㉞ |
| 35 | 東彼杵町 | 東そのぎグリーンツーリズム協議会 |
| 36 | 波佐見町 | 波佐見東地域集落活性化協議会 |
| 37 | 小値賀町 | 特定非営利法人 おちかアイランドツーリズム協会 |
| 38 | 新上五島町 | 郷土料理研究会 |
| 39 | 熊本市 | くまもとジビエ研究会 ㉟ |
| 40 | 熊本市 | 天明環境保全隊 |
| 41 | 八代市 | 農事組合法人 鶴喰なの花村 |
| 42 | 八代市 | やつしろ菜の花ファーム987 ㊱ |
| 43 | 八代市 | 五家荘宿の会 |
| 44 | 水俣市 | 水俣市久木野地域振興会 |

| | | |
|----|-------|--------------------------------|
| 45 | 宇土市 | 宇土飯を喰らう会 |
| 46 | 上天草市 | 老岳集落 |
| 47 | 阿蘇市 | NPO法人 ASO田園空間博物館 ★ |
| 48 | 阿蘇市 | 草原再生オペレーター組合 |
| 49 | 阿蘇市 | 公益財団法人 阿蘇グリーンストック |
| 50 | 阿蘇市 | 株式会社 神楽苑 なみの高原やすらぎ交流館 |
| 51 | 合志市 | 「合志あぐっと！村」運営協議会 |
| 52 | 美里町 | 水上迫生活研究グループ |
| 53 | 大津町 | 真木地区協議会 |
| 54 | 菊陽町 | 株式会社 熊本玄米研究所 |
| 55 | 高森町 | ひごむらさきブランド化研究会 |
| 56 | 高森町 | 阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会 |
| 57 | 甲佐町 | バワフル母ちゃん |
| 58 | 山都町 | NPO法人 山都のやままの会 |
| 59 | 湯前町 | 幸野溝土地改良区 |
| 60 | 湯前町 | 国産材品質表示推進協議会SSDプロジェクト |
| 61 | 水上村 | 湯山温泉旅館組合 |
| 62 | 球磨村 | 田舎の体験交流館さんがうら運営委員会 |
| 63 | あさぎり町 | 中山間松尾集落 |
| 64 | 苓北町 | みどりの会 |
| 65 | 大分市 | 国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会 |
| 66 | 別府市 | 内成の「棚田とむらづくり」を考える会 |
| 67 | 中津市 | 浜の輪フレンド |
| 68 | 佐伯市 | 進水式を推進する会 |
| 69 | 佐伯市 | 漁村女性グループめばる |
| 70 | 臼杵市 | うすきツーリズム活性化協議会 |
| 71 | 臼杵市 | 粟手原資源保全推進協議会 |
| 72 | 豊後高田市 | 豊後高田市グリーンツーリズム推進協議会 |
| 73 | 杵築市 | The Japan Travel Company株式会社 ㊲ |
| 74 | 宇佐市 | 深見地区まちづくり協議会 |
| 75 | 宇佐市 | 岩崎農地水環境保全組合 |
| 76 | 豊後大野市 | 大野町みどり広域協定 |
| 77 | 豊後大野市 | あねさん工房株式会社 |
| 78 | 国東市 | 地域起こし協議会 文渓里の会 |
| 79 | 国東市 | くにさき七島蘭振興会 ㊳ |
| 80 | 九重町 | 千町無田資源保全組合 |

農山漁村活性化事例(H29)位置図(その2)



| | | |
|-----|-------|------------------------------|
| 81 | 都城市 | 農事組合法人 きらり農場高木 生活部加工班 (29) |
| 82 | 都城市 | 有限会社 徳重紅梅園 |
| 83 | 小林市ほか | 北きりしま田舎物語推進協議会 |
| 84 | 日向市 | 財光寺農業小学校 |
| 85 | 三股町 | 霧島会 |
| 86 | 高鍋町 | 四季彩のむら |
| 87 | 高鍋町 | 染ヶ岡地区環境保全協議会 |
| 88 | 西米良村 | 小川作小屋村運営協議会 |
| 89 | 木城町 | 駄留集落 |
| 90 | 川南町 | チームがはは |
| 91 | 高千穂町 | 合同会社 あまてらすの娘たち |
| 92 | 五ヶ瀬町 | 特定非営利法人 五ヶ瀬自然学校 (28) |
| 93 | 出水市 | いずみ民泊体験推進協議会 (29) |
| 94 | 薩摩川内市 | 薩摩川内市GT推進協議会 |
| 95 | 日置市 | NPO法人 がんぱろう高山 |
| 96 | 霧島市 | 佳例川地区自治公民館 |
| 97 | 南さつま市 | 特定非営利法人 エコ・リンク・アソシエーション (28) |
| 98 | 南さつま市 | 株式会社 南風ベジファーム (29) |
| 99 | さつま町 | 中津川区むらづくり委員会 |
| 100 | 屋久島町 | 合同会社 89298.com |
| 101 | 屋久島町 | 株式会社 屋久島宮之浦加工グループ |
| 102 | 喜界町 | 合同会社 喜界島 結い |
| 103 | 喜界町 | 喜界町農産物加工センター |
| 104 | 伊仙町 | 阿権むらづくり委員会 |

はしやす 箸休め 柚子香

平尾台特産、ユズのおつまみ/箸休め 柚子香



焼酎に合わせた“箸休め 柚子香”



“箸休め 柚子香”3種

取組概要

- ユズ収穫による地域興しと里山の整備を期待し、長期保存可能な特産品を開発。食べ継がれた味を「箸休め 柚子香」と名付けて製造。
- 日本で唯一の加工品のため、食べ方やいわれを示した和英の葉も付け、海外からの訪問者にも対応。
- 平尾台自然の郷、合馬農産物直売所などのほか、JR新幹線小倉駅コンコースや北九州空港等でも販売。H28年は約1600個販売。

活動成果

- 収穫されないユズを加工し特産品に。地元有名店や近郊の駅・空港で販売。高級なお土産や贈答品として、地域の観光振興につながっている。
- 農家からは傷のあるユズも高価で買い取ってもらえると喜ばれている。
- 「日本で唯一のユズのおつまみ 平尾台特産／箸休め 柚子香」というブランドの浸透で、自然豊かな平尾台・三谷地区へ観光客が増えている。

箸休め 柚子香

福岡県北九州市小倉南区志井鷹羽台25-6

Tel : 093-961-5273 Fax : 同左

いのくら

猪倉農業関連プロジェクト

学生が酒造？ 地域と築くシビックプライド！



学生と地元酒造による芋焼酎づくり

学生と地域住民による共同作業

芋焼酎「平尾台」の
宣伝販売

取組概要

- 2009年に北九州市立大学に地域創生学群が創設され、その実習を行う学生グループとして発足。
- 地域課題の「耕作放棄地・過疎高齢化・放棄竹林」に着目し、地域住民とともに共同農作業や竹林整備を実施。
- 収穫祭、地域の祭りなどの地域行事での出店活動や出し物、生産した野菜・加工品の買い物難民対策としての移動販売・訪問販売、耕作放棄地で生産した芋を使用した焼酎づくりを推進。

活動成果

- 生産した野菜や加工品を移動販売することで、地産地消の仕組みができた。
- 同じ場所に同じ地域の人々が集うことで、ふれあいの機会が増加し、地域コミュニティが活性化。訪問販売で独居高齢者の安否確認にも繋がっている。
- 芋を栽培して、産官学域連携により芋焼酎を作り、販売まで行うことで、地域ブランドを確立し、地域住民に誇り「シビックプライド」を持ってもらえるようになった。

猪倉農業関連プロジェクト

福岡県北九州市小倉南区北方四丁目2番1号2-330

Fax : 093-964-4216

やめ 八女商工会議所

八女から伝える 山の食文化の復興！



取組概要

- 鳥獣被害に歯止めをかけ、「猪」を新たな地域資源として活用するため、H24年から「ジビエプロジェクト」を開始。
- イノシシ肉の安定供給のため、箱罠に猪が入った時点で食肉処理業者に連絡する体制を整備。
- 有名シェフを招いた料理教室、地元飲食店10店舗(H28年)で八女産イノシシ肉を1ヶ月間味わう「八女ジビエマンス」の開催、カレー、ハム、ソーセージ等の商品開発、テストマーケティングを推進。

活動成果

- 地元では、猪肉を近所から頂く風習があり、猪肉への負の先入観(固い・臭い)が強かったが、5年間の取組により、メディア取材等も増え、地元のジビエに対する評価が変化した。
- 常時猪肉料理を提供する飲食店が現れるとともに、民間企業が処理場建設を検討し始め、今後の進展が期待できる。
- 伝統工芸の技術を活かし、副産物の革を活用した革製品の試作も行っており、新たな資源での商品化も期待できる。

八女商工会議所

福岡県八女市本村425-22-2

Tel : 0943-22-5161 Fax : 0943-22-5164

「H28九州農政局むらの宝」に選定

「ディスカバーむらの宝(第4回)」に選定

やめ 八女地域連携協議会

旅する茶のくに～地域を活かした交流事業～



旅する茶のくに週間、金箔体験



旅する茶のくにバス、黒木町の大藤



香港人向けインバウンドバスツアー

取組概要

- 平成25年より、伝統工芸や農業、食、観光体験を活用した八女独自の着地型旅行商品を企画実施。
- 現地での体験がメインの「旅する茶のくに週間」(32体験)、久留米市のJR・西鉄駅を発着地とするガイド付き「旅する茶のくにバス」(ツアー数29)を実施。平成28年より香港人向けツアーも実施。
- 福岡市中心部に開設したアンテナショップ「八女本舗」で、農産物直売と併せて着地型旅行商品の募集販売を実施。

活動成果

- 年間を通じた体験プログラム、観光ツアーにより、都市部からの観光客が増加。インバウンド需要も見込めるため、英語スタッフを雇用予定。
- 八女人ガイド(現地案内人)という新たな地域ツーリズムビジネスになっている。
- アンテナショップでは、農産品・加工品の直売により、農業者の生産意欲と所得増加に貢献。旅行商品販売や観光PRなど情報発信基地としても大きな役割を果たしている。

八女地域連携協議会(茶のくに観光案内所)

福岡県八女市本町2-129

Tel : 0943-23-1192 Fax : 0943-22-7311

「H29九州農政局むらの宝」に選定

ほしのむら がんばりよるよ星野村

都市との協働で災害復旧から地域復興へ！



耕作放棄地の再利用



移住体験・交流施設

取組概要

- 平成24年の九州北部豪雨の被災地域の復興には災害復旧後の営農支援や観光交流の推進などが課題であった。
- 平成26年度から、農山村地域でのCSR活動に興味のある県内11の企業、大学等と5年間の協定を結び協働活動を実施。活動内容ごとに分科会を設置。
- 再生耕作放棄地での米やソバ栽培、荒廃林の果樹公園への転換、茶種子油を用いたスキンケア商品づくり、古民家の移住体験・交流施設への整備等を推進。

活動成果

- 農作業支援は、高齢化で草刈等が出来ない地域で環境や景観、多面的機能などの保全に大きな効果があった。また、社員の団結にも繋がった。
- 放棄茶園が増える中で、茶種子油の商品化は地域農家から高く評価されるとともに、企業の社員等は新鮮で安全安心な農林産物の購入を喜んでいる。
- 移住体験施設の開設は、コンサートなどのイベント開催による都市住民との交流が地域活性化につながっている。

NPO法人がんばりよるよ星野村

福岡県八女市星野村13102-1番地

Tel: 0943-24-8353

Fax: 0943-24-8383

ほしのむら ほしさと
星野村農産加工施設「星の里」利用組合

頑張り続ける気持ちとヤル気が村の宝です。



グッドデザインに輝いた「ほしのほし野菜」

高齢者の経験が生きる味噌作り

保育園児の味噌作り体験

取組概要

- 平成23年に「ほしのほし野菜(ナス、玉ねぎ、カボチャ等)」を開発。原料の野菜は地元農家との契約栽培により調達。
- 今回の豪雨被害の被災地朝倉地区の出荷できなくなった玉ねぎを復興支援の一助として買い取り、ほし野菜に加工。
- 平成元年より始めた味噌は当初、生産販売だけであったが、村内の中学生、小学生・保育園児まで味噌作り体験を行い、本物の麴から作る手作り味噌を見て、食べて、体感してもらっている。

活動成果

- 味噌作りは全国から視察に来られるようになり、本物の良さを知ることによって、味噌作り体験の希望者も増え、ロコミ等で広がり、販売へも繋がっている。
- ほし野菜は、生産販売を続けたことで生産農家の活性化に役立ち、ほし野菜の視察も急増し、他地域の活性化に一役かっており、交流を続けている。
- 構成員である高齢者の知恵を活かしながら活躍する場となっており、笑顔と元気が出て、楽しんで喜ばれている。

星野村農産加工施設「星の里」利用組合
 福岡県八女市星野村4540

Tel : 0943-52-2204 Fax : 0943-52-2214

ほうちく 豊築漁業協同組合

「本物の獲れたて」豊前の魚で地域おこし



漁業者による対面販売

漁業者から買い上げた魚を利用した定食

地元産ハモを利用した
「はもどっく」

取組概要

- 豊前海では、旬の時期に同一魚種が大量に水揚げされ、供給過多で値崩れを起こしていた。
- そこで、H21年に組合直営の「漁師食堂 うのしま豊築丸」を開業し、漁業者から直接買い上げ、食材として利用。
- H28年、市の海業支援施設「うみてらす 豊前」の指定管理者となり、直売所・加工所を開設。漁師食堂も移設。水揚げ直後の魚介類の直売や廃棄されていた雑魚のすりみ等への加工・販売も実施。

活動成果

- 魚価の下支えや市場までの輸送コストの縮減、水産業の6次産業化の実現で漁業者の所得が向上。消費者と直に触れることで、漁業者の勤労意欲も向上。
- 加工所では「浜のかあちゃん組」を雇用することで、女性の活躍の促進と同時に魚さばき技術の継承にも貢献。
- 東九州自動車道の全線開通に合わせPR活動を実施したことで、福岡都市圏や大分・宮崎方面からの来客も増えており、豊前市の観光振興にも寄与。

豊築漁業協同組合

福岡県豊前市大字宇島76番地31

Tel : 0979-83-2228 Fax : 0979-83-2391

えだがわうち

枝川内あじさい祭り実行委員会

ちいさな村の大きな挑戦！日本一のアジサイランド



1万5千株のあじさいが咲き乱れる枝川内地区



取組概要

- H13年に基盤整備後の法面活用としてアジサイを植栽。H22年から「枝川内あじさい祭り」を毎年開催。
- アジサイの増植は、植栽会、剪定会を開催し、都市住民の参加者を募り、実施。あじさい祭りでは、集落の農産物の他、新たな特産品「求菩提(くぼて)そば」のそば打ちの実演・販売、地域の米を「あじさい米」として予約販売も実施。
- H25年に集会所を食事処として開店。地元食材を活かした食事を提供。

活動成果

- あじさい祭りの来訪者(H29年は6,500人集客)へ、岩屋地域を情報発信することで、観光客が急増。地域観光産業へ大きな経済効果となっている。
- 「求菩提そば」の販売も伸び、あじさい米を提供することで、新たな消費者の発掘につながり、営農組合の米販売が増加している。
- 祭りの開催を通じて、集落が一体となることで、地域コミュニティが強化され、農村の共存共益社会が再構築されている。

枝川内あじさい祭り実行委員会

福岡県豊前市大字大河内301-3

Tel : 0979-88-2002 Fax : 同左

おごおり 小郡 星の会

農業とものづくり文化のこだわり発信



「星のであい展」での「久光農園」の様子



「翔工房」の機織り体験



「久光農園」の6次化商品展示

取組概要

- 会員は、織物、洋服仕立て、ドライフラワー、寄せ植えや苔玉販売等の多彩なものづくり作家で構成。
- 平成16年から、毎年10月末の金土日の3日間、小郡市内の会員の自宅やギャラリー6ヶ所を解放して展示や販売、ワークショップを行う「星のであい展」を開催。毎年1千人ほどが来場。
- パンフレット作りから広報活動、会場企画まで一年をかけ会議を重ね、開催している。

活動成果

- 年に一度のイベントで、高齢者や若者も無理なく出展し、参加が可能となっており、家族や地域の会話も増え、生きがいの発見にもつながっている。
- 会場が分散していることで、地域を広く体験するきっかけとなり、地域や異文化の交流が生まれ、新たな顧客の獲得に結びついている。
- 会員の「久光農園」が6次化法認定の「規格外苗木の個性的な姿を活かした寄せ植え販売事業」を創出。

星の会 事務局 久光農園(久光壽子)
福岡県小郡市小郡1883-9

Tel : 0942-72-3756 Fax : 0942-72-9132

さといち あんずの里市利用組合

No.1ではなく、オンリー1を目指す！



「あんず祭り」のイベント

スーパーマーケット跡にて毎週買い物支援

取組概要

- 農家が運営主体となった直売所(H8年開設)でレストランも併設し、地元野菜を活用した料理も提供。収穫祭等のイベントや試食会等のPR活動を展開。
- 学校給食等への食材の提供の他、閉店したスーパー跡で毎週木曜日に青空市を開催するなど、生活支援も実施。
- 長野県の道の駅と交流。冬場に野菜を送り、りんご等を取寄せる連携を実施。今年は豪雨被害にあった朝倉市支援のため、朝倉産の野菜・桃・巨峰も販売。

活動成果

- イベントやPR活動で、地元農産物の良さが地域住民に認識され、学校給食への供給量が増加し、地元産が50%を超えている。直売所等の売上も増加。他産地との連携はお互いの地域で高評価。
- 青空市は、スーパーの撤退により、車で買い物に行けない高齢者など500人ほどの買い物弱者を支援。
- 20年の歴史ある直売所として視察も多く、海外を含め、年間30件以上の直売所研修を受け入れ。

あんずの里市利用組合

福岡県福津市勝浦1667-1

Tel : 0940-52-5995

Fax : 0940-52-5999

つつら棚田を守る会

多様な主体によって守られる棚田の景観



つつら棚田の景観

畔塗り作業

稲刈り作業

取組概要

- H18年に設立。構成員は地区内外の40人。久留米市の企業等も参加。つつら棚田約6haのうち、高齢化等で耕作できない方の約1.1ha(54枚)の棚田を耕作。
- 1枚1枚の面積が小さく、手作業の場合もあり、また広範囲に分散しているため、水の管理に苦勞するなど困難を伴いながら耕作を継続。
- 棚田の景観を活かし、9月の「彼岸花めぐり&ばさら祭り」、10月の「棚田のお月見会」などの交流イベントを開催。

活動成果

- 棚田の景観が保たれており、彼岸花のイベントでは毎年約1万人以上を集客するなど年間を通じて多くの方が足を運んでいる。
- イベントへ来た方に棚田のお米や農産物を購入していただくことによって、お米等の価値がブランド化され、棚田の食のファンになっていただいている。
- 大学や企業等に棚田の営農を学ぶ機会も提供。この縁で企業の店舗にうきはの展示コーナーを設けていただいた。

つつら棚田を守る会事務局 うきは市役所うきはブランド推進課

福岡県うきは市浮羽町朝田582-1

Tel : 0943-76-9059 Fax : 0943-77-5557

くすもりどう 楠森堂

あるものを活かし魅力発信！ 地域に元気と誇りを！



在来種の茶畑。株ごとに品種が異なるため、様々な緑色が混在

校庭茶園再興の取組支援

取組概要

- H18年、脱サラし、実家の荒廃した茶園（日本古来の実生の在来茶園）5haの再興に向け独学で茶栽培に取り組む。
- H22年、ホームページを立ち上げ、ブログにて希少な在来茶のPRとともに、地域の自然、歴史等を情報発信。地元小学校の校庭の荒廃茶園の復活を支援。
- H23年より土蔵でひと夏寝かせた「蔵出し茶」を発売開始。文化財指定の実家を一般公開し、地域と連携しジャズ等の音楽会、能、狂言等のイベントを開始。

活動成果

- 情報発信を継続したことで、全国から在来茶を求め楠森堂を訪れるようになるとともに、文化誌、業界誌、様々なメディアから取材依頼を受けるようになった。
- ニューヨークの日本茶専門店から「蔵出し茶」の味わいが高く評価され、H27年から取引を開始。
- 地元小学校や地域にも深く関わり、地域を担う子ども達の地域への愛着と誇りを育むとともに、人を呼び込むきっかけをつくり、地域の活性化に貢献。

楠森堂

福岡県うきは市浮羽町山北2056

Tel : 0943-77-4019 Fax : 同左

農事組合法人 モア・ハウス

女性が輝く、九州屈指のきのこ産地！



モア・ハウス役員と女性職員の皆さん



クリーンなぶなしめじの栽培



主婦目線で開発した
こだわりの加工品

取組概要

- H9年に農家の主婦4名で、町の特産物であるきのこの生産法人を設立。
- ぶなしめじ栽培に取り組むとともに、栽培後に排出される菌床を堆肥としてグリーンアスパラガスを栽培。
- H10年以来、年間95回以上、きのこの対面試食販売を実施。そのときの消費者の声がかきかけで、「きのこのこ飯の素」や「焼きエリンギ」など9種類をH16年より商品化。きのこのもぎ採り体験や農業研修生の受入も実施。

活動成果

- ぶなしめじ、アスパラガス栽培は産地形成に寄与するとともに、売上高1億7000万円(H28実績)の企業へと成長。
- 「きのこのこ飯の素」など加工品は手間いらずと好評で、年間3000個を売り上げ、地元を代表するヒット商品となっている。
- 農業で自立する女性を増やしたいとの思いで始めた軽量野菜のアスパラガス栽培での農業研修生受入では、これまで11人を受入、うち8人(うち女性3人)が独立、就農。

農事組合法人 モア・ハウス

福岡県三潴郡大木町上木佐木527番1

Tel :0944-32-1588 Fax :0944-32-1625

「H29九州農政局むらの宝」に選定

農家民宿 具座

本当の田舎三瀬 ここから世界へ！



食材の旬に合わせた料理(一例)

しいたけ収穫

そうめん流し

農作業体験

海外からのお客様

取組概要

- H17年に村役場を早期退職し、就農したのを契機に農家民宿を開業。
- 自家野菜を利用した田舎料理、猪やヤマメ料理など地域食材を利用した料理を提供。山菜採り、釜戸炊きごはん、ピザ焼き、薪割りなど多彩な体験も提供。
- 海外ドラマの撮影舞台となったこともあり、海外からのお客が増加。外国語やインターネットの知識習得に取組み、HPの英語表記や海外のブロガーやユーザーと連携を図っている。

活動成果

- 築100年の納屋を改築した宿の趣や「おもてなしの心は自給自足にあり」をモットーにした料理、体験が評価され、リピーターやファンが増加。毎年500人以上の利用客がある。
- 海外からの利用客は、海外ドラマの撮影舞台となった翌年のH28年は105人（H27年は38人）に増加し、H29年はSNSを活用した情報発信（拡散）により、さらに倍増する見込みである。

農家民宿 具座
佐賀県佐賀市三瀬村藤原1097

<https://ja-jp.facebook.com/mitsuseguza/>
Tel :0952-56-2649 Fax : 同左

わらびの 蕨野集落

先人が残した貴重な宝(棚田)を未来につなぐために



日本一高い8.5mの石積み

棚田援農隊による復田

イベントによる桜の植栽

取組概要

- 耕作放棄地の再生を目的に、佐賀大学と棚田援農隊を結成し、約8,500㎡を復田。さらに企業等の協力を得て、石積みや畦畔の草刈活動を実施。
- ブランド米「棚田米蕨野」として生産・販売。直売所では、棚田米や棚田米せんべい、米サイダーを販売。
- 「早苗と棚田ウォーク」、「ふるさとの灯りコンサート」などのイベントを開催し、都市住民と交流。

活動成果

- イベントに多くの都市住民が訪れたことで、蕨野の棚田ファンが多くなり、「棚田米蕨野」の売上が増加している。
- イベント時に、直売所女性会員の手作りによる、さつま芋の菓子やコロケなどを販売することで、高齢者の活躍の場や都市住民とのふれあいが生まれた。
- 地域住民が蕨野集落に誇りを持つようになり、先人が苦労を重ねて築いてきた棚田を未来へ継承しようという機運が高まった。

「H28九州農政局むらの宝」に選定

社会福祉法人もやいの会

働きたいをカタチに一農福連携の試み



プール跡地に建てた耐候性ハウス



快適な環境での収穫作業



トマトシフォン作り

取組概要

- H26年に小学校の廃校舎を活用し、複合環境制御ハウス12aを設置し、ミディトマトの養液栽培を実施。また、菓子工房の施設を整備。
- トマト栽培では、雇用契約を結ぶ就労支援A型の10人が栽培・選果に就労。菓子工房では、雇用契約を結ばない就労支援B型の23人が「トマト・シフォン」作りや原木シイタケ栽培に就労。
- 地元との融和のため、「地元協議会」を年2回開催。3月には収穫祭を開催。

活動成果

- 月産約3トンのミディトマトは、積極的な直売先の開拓で、大型スーパーにも出荷されるようになり、栽培、選果に従事している就労支援A型の10人には、県の最低賃金を支払うことができている。
- 就労支援B型の23人には、シフォンを月産200個製造販売する菓子工房や原木シイタケ栽培などの収益で、工賃を支払うことができている。
- 地元からは、廃校を再生させたことが高く評価され、収穫祭の参加者も500人を超える。

社会福祉法人もやいの会

佐賀県多久市南多久町下多久6103-2

Tel : 0952-76-4600 Fax : 0952-76-4620

「ディスカバーむらの宝(第4回)」に選定

たなだまい ひらの棚田米振興協議会

孔子の流れは棚田に注ぐ賢い子供の棚田米



直売所での試食販売キャンペーン 進物用袋の例



稲刈り体験イベント



稲刈り体験イベントでのおにぎり準備

取組概要

- 棚田米の生産農家9名でH23年に設立。良食味米の特色を活かし、直売所の他、市内の飲食店、市外の店舗等での直売やネット販売を実施。H26年から稲刈りイベントも実施。
- 2kg袋・3kg袋・5kg袋、赤ちゃんの日晴れ等の進物用に自由袋(2kg~4kg袋)で販売するなどきめ細かに対応。
- 稲刈り後に共同でレンゲの種をまき、春の開花後に鋤きこむ減化学肥料対策を実施。

活動成果

- 一度食べたら、その美味しさからクセになると好評で、リピーターが増えており、市外・県外からのネット注文も毎年増加し、売上は、H24年の約90万円からH28年には約4倍増の370万円。
- 多久市のふるさと納税の返礼品やプレミアム商品券、イベント等の景品にも利用されるようになった。
- 稲刈りイベントも好評で、都市住民に「ひらの棚田米」を広く知ってもらうことができ、地域の活性化に繋がっている。

ひらの棚田米振興協議会事務局
佐賀県多久市北多久町大字小侍2番地35

Tel : 090-2513-2076 Fax : 0952-75-5729
Eメール: kozono1022@yahoo.co.jp
URL <http://www.hirano-tanada.com/>

は た つ ち ょ う
波多津町まちづくり運営協議会

豊かな大地と海を活かし、新たな価値を創る



「波多津ウオーク」



BBQ波多津の海の幸・山の幸



潮風に吹かれてのBBQ

取組概要

- H20年に全住民を会員に発足。全世帯対象とした調査を基にまちづくり計画を策定。H26年に第2次計画を策定。
- 計画に基づき、地域農畜産物のPR・販売拠点「ふれあい広場」でのカキ焼き、伊万里牛などのBBQや直売所を運営。
- また消費者交流イベント「波多津みなと祭り」の開催、「あぐり山」の公園整備、住民の健康づくりと観光客誘致を兼ねた「波多津ウオーク」の開催など多様な活動を住民が主体となって推進。

活動成果

- カキ焼きは11月上旬から翌年の4月下旬の毎週土・日に開催され、新鮮さが好評で、貸切バスでの来客もある。
- 10月開催の「波多津みなと祭り」は海の幸・山の幸BBQやろ漕ぎレースなどが催され、3,500人の参加がある地域の一大イベントとなっている。
- 3月開催の「波多津ウオーク」は花桃が咲く「あぐり山」や漁港など波多津の美しい景観を巡回し、町内外より350人の参加がある。

波多津公民館

佐賀県伊万里市波多津町辻1080番地

Tel : 0955-25-0001 Fax : 0955-25-1140

きたかしま 北鹿島ふるさと会

故郷の農村環境は ふるさとで守ろう



「柳瀬水道」の清掃活動



「田んぼの学校」での田植え



海の森事業での植林作業

取組概要

- 地域の農業は、歴史のある「柳瀬水道」の水を利用しており、農地・水路・道路等の保安全管理活動や施設の長寿命化の活動と併せて、この「柳瀬水道」の整備を重要課題として活動。
- 農村環境保全活動として、老人クラブとの花植えや野鳥観察会、小学校との連携によるクリークへのEM菌投入、「田んぼの学校」の支援、有明海の水源地となる山林の下草刈り等に取り組む。
- 「田んぼの学校」は年間の米作りを体験。

活動成果

- 会の活動を通じて、農地等の適切な維持管理と併せて、話し合いが増えたことで効率的な水利用にも役立っている。
- 「柳瀬水道」を維持管理していくために歴史ある地域資源として体験学習を行うことにより、次世代へ伝えていこうという意識が高まっている。
- 「田んぼの学校」の実施により、子供たちの体験活動のほか、農業者も伝統農法の大切さを再認識し、保護者や地域住民との交流にもつながっている。

北鹿島ふるさと会

佐賀県鹿島市大字山浦甲1564-2

Tel : 0954-63-2853 Fax : 0954-62-5087

えりやま 江里山棚田米生産組合

棚田と彼岸花の里 江里山



棚田と彼岸花のコントラスト



彼岸花祭り



ふるさと納税返礼品に活用

取組概要

- 集落の農家24戸で構成。耕作面積11ha。棚田米のブランド化を図るため、菜の花の鋤き込みによる化学肥料の低減、低温貯蔵庫、精米機、色選機の導入による品質管理を実施。
- 農地、水路、農道の維持管理、農道整備を行い、高齢者のサポート体制を構築。
- H10年より彼岸花祭りを実施。祭りでは、案山子コンテスト等も実施。休耕地を活用し、都市住民と行う蕎麦づくりのほか、コスモス、ひまわり等景観作物を栽培。

活動成果

- 棚田米は県の特別栽培米の認定を受け、デパートやホテル等への販路拡大に繋がるとともに、近年はふるさと納税の返礼品としての出荷が増加。
- 彼岸花祭りへの来訪者は当初の百人台から、近年は千人台へと増加するとともに、四季に応じた景観づくりにより年間を通して観光客が来訪。
- 地元特産のこんにゃく等の販売増、祭りや棚田保全を手伝う大学生、県内企業のボランティアの受入に結びついている。

江里山棚田米生産組合
佐賀県小城市小城町岩蔵4844

Tel : 0952-72-4677

うれしのおんせん

嬉野温泉湯どうふ振興協議会

とろ〜り嬉野名物「嬉野温泉湯どうふ」



湯豆腐フェスタ 大鍋による販売



契約栽培大豆生産



セット商品と飲食店の温泉湯豆腐

取組概要

- 江戸時代からの名物料理「嬉野温泉湯どうふ」を全国に広めるため、豆腐の材料、製造、料理、販売などの一元的管理と広報活動を推進。
- 大豆は市内の集落営農組合・全農・商社との契約栽培。嬉野産大豆を100%使用し、添加物は使用しない豆腐を製造。H19年に商標登録。
- 嬉野温泉の各旅館や飲食店で提供。家庭でも楽しめるよう豆腐、温泉調理水、たれ等のセット商品を全国発送。PRイベントとして、「湯どうふフェスタ」を開催。

活動成果

- 嬉野産大豆を使用した安全・安心な豆腐を製造し、嬉野温泉の各旅館や飲食店で提供する地産地消(H28年大豆消費量約66トン)が定着。
- 温泉の食文化において新たな商品開発を進める中で、古来より食されていた湯豆腐を「嬉野温泉湯どうふ」として確立。
- 今年で16回目になる「湯どうふフェスタ」の来客数も6千人程度とPRイベントとして定着。豆腐のパッケージ統一等により消費者が安心して購入できるようになっている。

嬉野温泉湯どうふ振興協議会

佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙2202-55 Tel : 0954-43-0137 Fax : 0954-42-0361

株式会社 きやまファーム

エミューで「一石二鳥」



取組概要

- 耕作放棄地を活用し、町おこしに繋げるため、エミューの放牧を持続的にを行い、加工から流通までを担う当社をH27年に設立。
- 耕作放棄地にエミューを放牧。草を啄み、土地を走り回ることによって草の繁茂を防ぎ、耕作可能な状態に再生。また、再生農地で健康機能食品のキクイモを栽培。
- エミュー肉を使った「エミューキーマカレー」を商品化。これを核に地域の食品製造業者や飲食店と連携し多様な商品開発を推進。

活動成果

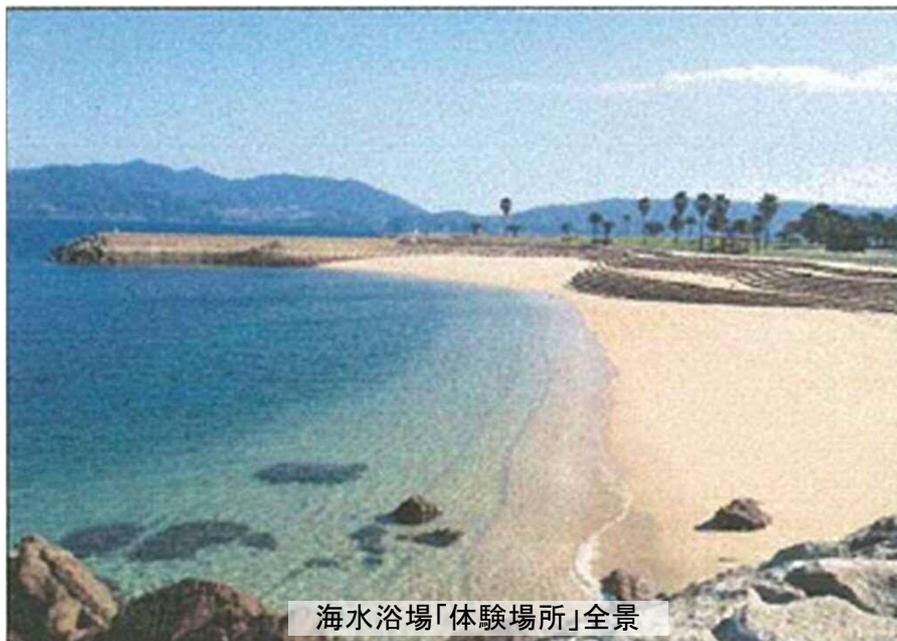
- 当初は放牧する農地の借り入れも同意が難しかったが、イノシシ等の獣害対策の効果もあり、以前よりもスムーズに農地が利用できるようになった。
- 町の定住促進PRのCMのキャラクターとしても使用され、住民の認知度が上がり、町を代表する鳥となった。
- 近年では、エミュー料理を提供する飲食店も増加し、基山町のご当地メニューとなっている。

株式会社 きやまファーム

佐賀県三養基郡基山町大字園部2784-7 Tel : 0942-50-8603 Fax : 0942-92-5548

たかしま やったろう de 高島

商標登録で進化する「シュノーケリングピクニック」



海水浴場「体験場所」全景



体験前の器材説明



体験者の体験風景

取組概要

- 周囲徒歩1時間程度の離島の活性化に取組むため、H22年に設立。構成員10名。
- 島の海水浴場に生息するサンゴと熱帯魚を観る「シュノーケリングピクニック」を創出。シュノーケリングとピクニックを組合せた造語でH27年に商標登録。
- 体験民宿も運営。島で養殖されているヒラメを活用した寿司、天ぷら、しゃぶしゃぶを提供。島のブランドトマト「高島トマト」を活用した名物料理を開発中。

活動成果

- シュノーケリング体験ツアーは個人客をベースに毎年1,000名以上を維持。約半数は県外からの体験者で海外からも毎年20名程度が利用。
- 「手軽に、気軽に、安全に」をモットーとした対応が体験者に評価され、3割程度がリピーター。商標登録もネット検索のキーワードとして有効な手段となった。
- 体験民宿も200名程度の宿泊客があり、ヒラメ料理も好評で、特に他府県の方に高い評価を得ている。

高島町ブルーツーリズム促進協議会
長崎県長崎市高島町2707番地12

Tel :095-896-3510 Fax : 同左

といし あさいち 戸石フレッシュ朝市運営協議会

新鮮な旬の農水産物の販売による地域活性化



直売所での販売風景

東京からの観光客受入

観光客にハモをさばいて見せる

取組概要

- H13年に地元漁業者、農業者、商工会のメンバーで協議会(会員101名)を設立し、直売所での農水産物等の販売を開始。
- 夏の「はも、わたりがに」、冬の「ふぐ、かき」など、旬の魚をメインにイベントを実施。「漁師めし(炊き込みご飯)」の商品開発を行い、H28年から販売。
- H22年から地元の水族館等と連携したツアー等を受入。H28年から、関東からの旅行客をターゲットに受入れ開始。漁師めしや旬の魚の刺身などを提供。

活動成果

- 直売所は、半端物等が販売でき、生産者の収入確保の場となり、地域にとっても農水産物の主要な購入先として定着(売上は4000万円程度で推移)。
- イベントや地元飲食店と連携した「料理フェア」、養殖カキの収穫体験など幅広い活動で、地元消費と交流人口が増加。
- 消費者の声を受けて開催した「魚のさばき方教室」などの活動が、惣菜等の開発に結びつくなど生産者の販売に対する意識が高まった。

長崎市たちばな漁業協同組合
長崎県長崎市戸石町1519-34

Tel : 095-830-2236 Fax : 095-830-2631

社会福祉法人じゅもん会

熱中症対策は福祉農園の社会貢献から



緑のカーテン設置例、酵素肥料

温室内部

取組概要

- 障害を持つ方の職域拡大を目的に、10年ほど前から農作業に取り組み、その過程でグリーンカーテン用のパッションフルーツ苗の生産を開始。
- 冬季、凍結による苗の枯死が生じていたため、温度管理可能な温室を整備。また、通路部を舗装するなど車いす利用者でも作業できる環境を整えた。
- H27年よりパッションフルーツ生産に加え、肥料を研究。米糠ベースのぬか床で微生物を培養した酵素肥料を生産。

活動成果

- 協力企業を拠点に販売。販売先は大都市圏のイベント会場や工場、ホテルなどであり、販売数は年間1万本程度。
- 農作業に20人が従事し、農作業収入は400万円(H29年)。福祉から就労という流れに向けて、農業分野での自立支援面や工賃向上に一定の成果があった。
- 酵素肥料の使用でパッションフルーツの果実重量は従来の1.5倍程度になり、甘味も凝縮。このため、苗とのセット販売や、他の野菜への利用も進めている。

社会福祉法人じゅもん会 就労継続支援(B型)施設ワイドビジョン

長崎県諫早市小船越町680-1

Tel :0957-25-3300 Fax :0957-25-3233

株式会社ふれあいファーム

自分の持っているすばらしい力をイキイキと活かせる場所



ハウスで生産を担当する障がい者



スーパーで人気のトマト



障がい児童の就労体験

取組概要

- ホウレン草、トマトの農業生産法人。障がい者支援施設に作業を委託。障がい者の自立的活動と就労の場を提供。
- 主な作業は収穫、選果、袋詰め、箱詰めであり、作業を細分化し、障害者が自立して作業し易くしている。
- 社員の高齢農業者が、孫・子と同年代の障がい者に毎日、野菜の管理、収穫、生育を教えながら作業。一般市民、児童・学生が園芸ボランティアとして障がい者と作業する「ふれあい活動」を実施。

活動成果

- 現在31名の障がい者が作業を行い、ホウレン草10t、トマト50tを生産販売。障がい者はやりがいと自負を持ちながら作業している。
- 障がい者は、この活動によって経済的にも自立し、グループホームなどで生活することが可能となった。
- 「ふれあい活動」では、ともに作業する中で、障がい者がボランティアに作業を教える場面もあり、障がい者への親近感と理解が広がっている。

株式会社ふれあいファーム
長崎県大村市富の原2-424-35

Tel :0957-47-8335 Fax :0957-47-8336

「H29九州農政局むらの宝」に選定

ねしこ 根獅子集落機能再編協議会

根獅子発！小さな集落の小さな循環型プロジェクト



都市部からの親子のサマーキャンプ受入



ねしこ食まつりシンポ



通販も行っているおせち料理

取組概要

- 棚田での都市住民・大学生等の農業体験学習、美しい浜を活かした自然体験等のツアーを受入。古民家の改装で交流施設を整備。
- 郷土料理を住民が持ち寄り「ねしこ食まつり」を開催。おせち料理、弁当、オードブル等を開発・販売。
- 自然農法栽培ねしこビワの販売や、荒廃棚田の活用で生産した米を用いたオリジナル純米酒の醸造・販売。

活動成果

- 都市住民の往来が増え、産物の販売額も増加。海外及び国内児童・生徒たちの体験学習の場としての要請が増加。H29年は九州管内の親子延べ400名のサマーキャンプを受入。
- 視察や研修受入の実施等により、地域や特産品の知名度が上がり、ブランド化の動きが出てきた。また郷土食の活用により、女性の活躍の場が広がり、町全体が元気になった。

根獅子集落機能再編協議会
長崎県平戸市根獅子町1840

Tel :0950-28-2075 Fax : 同左

一般社団法人まつうら党交流公社

松浦党の里ほんなもん体験



農業の営み体験



シーカヤック体験



民泊体験

取組概要

- 松浦市、平戸市、佐世保市で体験型修学旅行を受入。当公社はコーディネート組織として、学校及び旅行社への窓口対応の他、安全管理、危機対応を、各市の地域等ごとに組織されている13組織1団体は体験・民泊の現場管理を、各組織に加入する会員(農林漁家)は修学旅行の現場での受入を、それぞれ担う。
- 体験メニューは農林漁業、田舎料理、伝統工芸、シーカヤックをはじめ80種類を提供。会員(500戸)は簡易宿所許可を取得し、体験と民泊をセットで提供。

活動成果

- 年間160校3万人前後を受入れており、H30年度には、累計30万人を達成見込。
- 生徒さんには、農林漁業の営み体験及び民泊体験で、地域の豊かな食文化や生活、農水産物の価値を知り、コミュニケーション能力を高めている。受入れ側は、生徒さんが感動する姿を見て、自分の生業に自信と誇りを覚えている。
- 体験指導料や民泊料を始め、旅行社、先生等の旅館宿泊、弁当発注など地域の経済効果になっている。

一般社団法人まつうら党交流公社
長崎県松浦市志佐町浦免1808番地1

Tel : 0956-27-9333 Fax : 0956-27-9334

みねひがし 峰東女性部キッチン

対馬の魚ば子供たちに食べてもらおうばい！

| 峰東女性部キッチン | | 店舗情報 | |
|-----------|--|------|----------------|
| 住所 | 対馬市峰町佐賀33-14 | 店舗名 | 峰東女性部キッチン |
| 電話番号 | 0920-82-0011 | 品名 | マアジ |
| FAX | 0920-82-0855 | 規格 | 40g〜 |
| 配達可能エリア | 峰町 五島先口 峰町東部漁協 | 価格 | 45円〜/1kg |
| お店の特徴 | H22年4月に漁協女性部員による「地元の水産物を中心とした給食用水産物の加工・販売」を目的として設立された。地元産の水産物を中心に、マアジ・シラ・イカ等の加工品を販売している。 | 時期 | 5月から 注文期間 一ヶ月前 |

| 品名 | 規格 | 価格 | 時期 | 注文期間 |
|---------------|---------|----------|-------|------|
| NO.1 マアジ(冷凍) | 30g〜40g | 45円〜/1kg | 5月から | 一ヶ月前 |
| NO.2 アジフライ | 40g | 65円〜/1kg | 5月から | 一ヶ月前 |
| NO.3 マアジ(冷凍) | 40g〜 | 45円〜/1kg | 5月から | 一ヶ月前 |
| NO.4 マアジ(冷凍) | 40g〜 | 45円〜/1kg | 5月から | 一ヶ月前 |
| NO.5 イカフライ | 30g | 45円〜/1kg | 1月から | 一ヶ月前 |
| NO.6 マアジ(冷凍) | 20g〜25g | 30円〜/1kg | 5月から | 一ヶ月前 |
| NO.7 バトフライ | 30g〜 | 45円〜/1kg | 1月から | 一ヶ月前 |
| NO.8 シイカ | 40g〜50g | 55円〜/1kg | 6月・7月 | 一ヶ月前 |
| NO.9 マアジ(冷凍) | 40g〜 | 45円〜/1kg | 5月から | 一ヶ月前 |
| NO.10 マアジ(冷凍) | 40g〜 | 45円〜/1kg | 5月から | 一ヶ月前 |

☆レベルファイブスタジアム限定☆

「バリ勝つ！バーガー」 新発売！

つぶつぶ明水入り
特製パン

対馬産のアイゴ(バリ)をカラリと揚げたカツ

フレッシュ野菜

明水マヨネーズソース & 明水のソース

¥600(税込)

福岡サンパレス福岡(メインスタジアム)にて販売中！

「バリ勝つ！バーガー」
食べて
バリバリ勝つぞい！！
九州大会出場目指し！！

「バリカツバーガー」のPRチラシ

取組概要

- H22年より漁協女性部員による峰東女性部キッチンが発足。地元定置網で漁獲された魚介類を原料とした給食用水産加工品の製造・販売を開始。
- 主な加工品はスルメイカ、アイゴ、マアジ、シラ、マトウダイ、イラのフライ、フライ及び塩干品など。加工では、小さな子供でも食べやすいように、小骨まで丁寧に取り除く。
- H24年には、磯やけの一因とされる藻類食害魚アイゴを加工したフライ(バリカツ)を開発。中村学園大学等と共同で販売。

活動成果

- 当初の仕向け先は地元峰町内の小中学校だけであったが、品質の確かさが認められ、現在は島内の全小中学校41校の給食や4ヶ所の保育所でも採用。
- 学校給食での地元水産物の使用回数は、当キッチン発足以前のH20年度は16回であったが、発足後のH23年度以降は約500〜700回/年まで増加。
- 漁業者がアイゴを回収するようになり、磯焼け対策に貢献。大学と共同での販売は、磯焼け問題の啓発にも貢献。

峰町東部漁業協同組合
長崎県対馬市峰町佐賀33-14

Tel :0920-82-0011 Fax :0920-82-0855

「H29九州農政局むらの宝」に選定

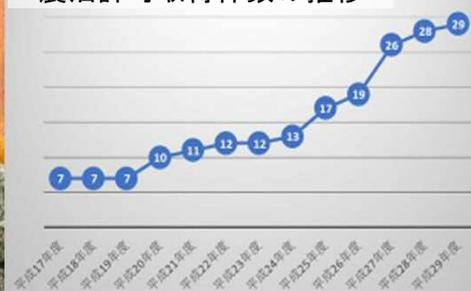
つしま 対馬グリーン・ブルーツーリズム協会

暮らしの原点を見つめ直す旅



島おこし実践塾生と農泊のおじいちゃん、おばあちゃん

農泊許可取得件数の推移



対州そば手打ち体験

取組概要

- H17年設立。H28年に事務局を市から民間に移行。民泊受入会員の拡大を推進。現在、民泊会員は29名。
- 季節ごとの農林漁業体験や郷土料理体験「対馬を暮らす旅」を提供。事務局に韓国人スタッフを受入れ、韓国人観光客の増加に対応。
- 国境の地対馬の歴史・自然・文化資源を活かした大学生向け合宿型プログラム「島おこし実践塾」を提供。

活動成果

- 民泊利用者数は年々増加し、H29年は2,500人を見込む。農泊の許可取得件数も事務局のPRと個別訪問により年々増加。
- 事務局の民営化により、情報発信や問合せ窓口が一本化され、様々なニーズに対応できるようになった。
- 島民の暮らし方や思想に、日本人らしさの原点を感じる場面が多く残されており、島の人暮らしに触れる農泊は、旅行者に感動を与えている。

対馬グリーン・ブルーツーリズム協会
長崎県対馬市上県町志多留208

Tel : 0920-85-1756 Fax : 0920-85-1755

じ こうぼう ぞうえいまる 地のもん工房 増栄丸

島の幸を生かした 新鮮・手作り惣菜

五島の海の幸を活かす惣菜。

Side dishes utilizing the bounty of the sea of Goto.

五島列島 福江島の東北に位置する「椛島」。豊かな漁場に恵まれた島で、古くから活きが良い魚介類が水揚げされる事で知られる島です。

そんな椛島にある民宿「増栄丸」では、女将と地域のおばあちゃん達が、古くから伝わる味付けで、昔ながらの惣菜を手作りしています。

そんな懐かしい味わいの惣菜を全国にお届けできるようになりました。

五島列島 椛島にある、知る

民宿 増栄丸のお

長崎県産品・特産品のサイトでの紹介



スタッフの皆さん



商品例(鯷の昆布巻き)



商品例(トグロの干物)

取組概要

- 五島市椛島で民宿・遊漁船業を経営。来客者に地の魚を使った料理を提供。これが好評であったこともあり、島の活性化も視野に加工品の製造を開始。
- 平成22年に小規模な加工場を整備。来客者へ提供しながら、県内外へ向けたインターネット販売を開始。全国各地の百貨店等の物産展に出店。
- 平成26年度には、離島活性化交付金を活用し、新たに加工場及び加工機器等を整備して生産体制を充実。

活動成果

- 長崎県産品・特産品のサイトにも紹介されるようになり、全国各地の百貨店等での展示販売などに伴い、購入リピーターも増加するなど、徐々に成果が上がってきている。
- 加工場は、島の女性及び島内移住者の就労の場・活動の場としての効果も上がってきている。
- 椛島の特産品として定着し、地元出身者のお土産としても好評で、島外へのPRにもつながっている。

地のもん工房 増栄丸

長崎県五島市伊福貴町592-10

Tel :0959-78-2269 Fax :0959-78-2289

おおみや さいかいしょく

大宮・西海食の交流促進協議会

食を通じて二つの地域を繋げ問題解決



佐世保市・大宮公園でのマルシェ



東京都・戸越銀座でのマルシェ



試食会の食事

取組概要

- H25年より、佐世保市大宮地区の高齢者等の買い物弱者対策として、福祉団体と連携・共同し宅配等を支援。また西海市西海地区の流通・消費の拡大により農業の活性化を支援。
- 好まれる惣菜メニューの検討のため、大宮市場のお客様を対象に試食会を開催し、ヒアリングを実施。
- 西海の産物を広めるため、西海市・佐世保市・東京都内でのマルシェに参加し販売を促進。

活動成果

- 試食会の開催により、地元ならではの旬の食材と地味噌など地調味料との組み合わせが有効であることを確認。今後の広報活動のヒントとなった。
- マルシェへの参加や開催により、交流人口の増加につながった。また地域によってお客様の求めるものが異なることと同時に、西海の農産物が十分に評価されることもわかった。

大宮・西海食の交流促進協議会
長崎県西海市西海町横瀬郷3550-3

Tel :0959-32-2345 Fax :0959-29-4121

やま うみ さと
山と海の郷さいかい

「農泊で地域が輝く！町の人が輝きを取り戻して帰って行く！」



「手長海老獲り体験」仕掛け設置の様子



「押し寿司作り体験」

取組概要

- 農的暮らしの体験拠点「エコビレッジさいかい元気村」及び「さいかいがいの会」会員の中の農泊実施者によりH28年に設立。構成員22名。
- 同年に市の農泊推進事業を受託。当初10軒の農泊事業者を半年で20軒に拡大。修学旅行生1校を受入れ。
- 郷土料理の地域ごとの呼び名や具の違いを各地域の特徴として活かし、各宿での体験の目玉とした。

活動成果

- 修学旅行受入れの成功をきっかけに、事務局での旅行者対応など全国から予約を呼び込む体制が構築できた。
- 旅行者を地域や家庭に受入れることで、農泊事業者の生活に張り合いが生じ、地元の景勝地や特産品、歴史や伝統を再認識する機会となった。
- 農泊は全ての体験に関わることから、西海市の歴史や自然の愛好団体をはじめ、各団体と連携が可能であり、市全体の魅力発信に有効であることを実感。

山と海の郷さいかい

長崎県西海市西彼町白崎郷241

「H28九州農政局むらの宝」に選定

みなみしまばら

一般社団法人 南島原ひまわり観光協会

地域が光り輝く観光地を目指して



修学旅行 野菜の定植体験



修学旅行 最後のお別れ



フィリピン高校生修学旅行受入れ

取組概要

- 当協会が民泊受入農林漁家(約170軒)、体制整備等を支援する市と連携して、農林漁業体験民泊を推進。
- H21年度の実入家庭6軒からスタート。教育旅行の誘致等により、H27年度には12,000人超を受入れ、そのうちインバウンドは、台湾の定期ツアーなどで1,400人を受入れ。
- 来訪者は家族の一員として、家業体験、食事づくり、団らんを過ごす。

活動成果

- 受入家庭による旧町の垣根を越えた新たなコミュニティ「南島原ひまわり村」の形成が受入軒数を急速に拡大できた一要因。
- 地域への経済波及効果は、H27年度実績で2億円超と試算され、民泊は裾野の広い産業と言える。
- 「もっと地元の良いところを見て欲しい、伝えたい。」という意識が芽生え、地元「誇り」を持つようになった。

一般社団法人 南島原ひまわり観光協会
長崎県南島原市南有馬町乙1395

Tel :0957-65-6333 Fax :0957-65-6336

ひがし

東 そのぎグリーンティーズ協議会

初めて体感する、心地よいお茶のリズム♪



茶畑ガイドウォーク 日本茶への関心が高く、質問は多い



お茶の淹れ方のレクチャー

田舎料理体験(ランチ)

取組概要

- 特産のお茶を活かしたグリーン・ツーリズムに取組むため、H27年に茶農家5戸と行政で協議会を設立。
- 主にイギリス人対象の2週間の日本ツアーにおいて、約3時間の滞在を受入れ。H28年は計15回、約200人に茶畑の散策、お茶の淹れ方のレクチャー、茶農家での田舎料理を提供。
- H28年に3軒の茶農家が民泊営業許可を取得。茶の体験型民泊を提供。

活動成果

- ツアー会社の参加者アンケートでは、印象に残った場所として「京都・富士山・東彼杵」との回答があるなど、外国人旅行者は茶農家との交流、昼食時の農家訪問などを高く評価。「そのぎ茶」が魅力的な観光資源であることに気づかされた。
- 民泊やツアーでの受け入れにより農業外収入が増え、また「そのぎ茶」をお土産に選んでもらえる機会も増えて、経済効果も出てきている。

東彼杵町ふるさと交流センター
長崎県東彼杵町彼杵宿437-1

Tel :0957-46-0900 Fax : 0957-46-1632

は さ み ひがし

波佐見東地域集落活性化協議会

陶・農の里 はさみ



取組概要

- 地元の有機野菜にこだわって「西の原ファーマーズマーケット」を毎月、第3日曜日に開催。
- 地区内の休耕田を利用した種蒔き・収穫に、器づくり(波佐見焼き)の陶芸体験を組み合わせた体験塾(そば塾・米塾・味噌塾)を開催。
- 近隣の2つの高校と連携し、中山間地における棚田の再生に取り組む。棚田米を利用し高校生が米粉のスイーツづくりを行い、空き店舗を活用し販売。

活動成果

- 猟友会のメンバーが自費で処理施設を建設し、イノシシ加工肉の販売を始めた。
- 散策マップづくりや、住民を巻き込んだ「集落を知る町歩き」の実施など新しい取組が始まってきた。
- 野菜づくり講習会や、飲食店との連携したイベントの開催が企画されるなど、体験観光や食の発信の取組が進展してきている。

波佐見東地域集落活性化協議会

長崎県東彼杵郡波佐見町井石郷2255-2

Tel :0956-85-2214 Fax :0956-85-2856

特定非営利法人 おぢかアイランドツーリズム協会

暮らすように旅をする 『おぢか島旅』



修学旅行の受入れ、対面式



魚釣り体験



食卓を囲んで

取組概要

- 当協会は、小値賀島観光のワンストップ窓口として、H17年度より民泊（受入家庭は現在25軒）、「古民家ステイ」などに取組んでいる。
- 民泊では一般の漁家・農家での食事・宿泊、郷土料理づくり、魚釣り、魚さばきなど受入家族とともに「島の日常」を体験。
- H22年より修学旅行（2泊3日）を受入れ。受入れ実績は年間3～6校。

活動成果

- 民泊事業により交流人口が増加。民泊が高い評価を受け、マスコミ等で取り上げられたことで来町者も増加。
- 農林漁業体験型民宿や体験インストラクターの開業に結びつくなど、町全体の活性化に大きく貢献。
- 町民が、食文化や生活文化、自然環境など島の魅力を再発見し、それを来島者へ伝えることで、地元を大切にしている気運が高まってきた。

特定非営利活動法人 おぢかアイランドツーリズム協会

長崎県小値賀町笛吹郷2791-13

Tel :0959-56-2646 Fax : 0959-56-3530

郷土料理研究会

400年前の味で島興し～『紀寿し』復活～



日曜朝市での販売活動



「紀寿し」



地元高校生の郷土料理教室

取組概要

- 当奈良尾地区の住民は400年前に紀州（和歌山県）から魚群を追って移り住んだ人がルーツとされ、古くから伝わるアジの姿寿司「生寿し」にも色濃く反映。
- 当会は、「生寿し」の継承等を目的にH17年より活動。田辺市の漁協で姿寿司の加工法を研修。H23年に加工場を整備。「生寿し」から「紀寿し」に改名し商品化。
- 島内でのイベント、直売所等で販売する他、地元小・中・高で魚料理教室を開催するなど食育・魚食普及活動も実施。

活動成果

- 「紀寿し」は町全域に広く周知され、毎月開催される日曜朝市では販売開始から短時間で完売するなど島の日常的な惣菜として定着。
- 長崎市内でのイベントでの販売や観光客への提供など、新上五島町の新たな特産品となり、活性化に貢献。
- 生徒・児童を対象とした食育や、料理教室による魚食普及活動を通じて、島の魚文化の担い手となっている。

郷土料理研究会

長崎県南松浦郡新上五島町奈良尾郷379-3 Tel :090-2713-5038

「H29九州農政局むらの宝」に選定

くまもとジビエ研究会

地域の“やっかいもの”を“美味しいもの”へ！



正式授業となった調理専門学校での鹿解体実演



鹿モモの精肉加工体験



店舗シェフ対象の芯温実証テスト

取組概要

- H24年設立。猪・鹿肉を供給する処理加工施設(11施設)、流通卸業1社、県内の飲食店47店舗、これらのコーディネートを担当する事務局により構成。
- 秋・冬の1ヶ月間、加入店舗でジビエ料理を提供する「くまもとジビエ料理フェア」、処理加工施設向けの解体処理技術研修、飲食店向けの産地視察研修と「加熱と美味しさを両立させた調理技術」の研修、調理師養成学校でのジビエ特別授業などを実施。

活動成果

- 処理加工施設の新たな販売先も増え、多くの施設で売り上げが増加。
- 販売形態も1頭・半頭売りといった「売る側の都合」による商品づくりから、500gや1kg単位での少ロット販売が中心になってきた。
- 飲食店も、秋冬を彩る熊本の名物フェアとしての認知も進み、フェア期間に限らずジビエ料理を提供する店も出てきた。

くまもとジビエ研究会

熊本県熊本中央区水前寺6丁目47-18 Tel : 096-381-6228 Fax : 096-381-6229

てんめい 天明環境保全隊

守り伝えよう地域の環境と文化～地域、学校教育、福祉との連携



水源涵養林 下草刈り



環境学習 炭焼き



銭じゃこ太鼓の曳き回し

- H19年に31集落の全住民、各種団体により設立。水源涵養林の育成、緑川河口での野焼きや海浜清掃を実施。景観形成、化学肥料低減のため、毎年200haでレンゲを作付。
- 引き継ごう郷土の文化！をテーマに協議会を立ち上げ、漏れない節、あげたかな等を伝承。
- 年10回程度、天明の全小・中学校で出前講座を開催。

活動成果

- 人々が集う共同活動から様々な連携活動に発展してきた。
- 福祉事業所も清掃活動への参加や、米・野菜栽培にも取り組む。単一集落では難しくなっていた伝統行事等は地域連携で復活。さらに、行政や農漁民と連携し、花植えや野焼きも実施している。
- 天明から呼びかけた緑川の清掃は、今では流域住民2万人が参加する一大イベントに発展。都市部と地元小学校が田んぼの学校を開催し、交流している。

天明環境保全隊

熊本県熊本市南区奥古閑町1863-5

Tel :096-223-2226 Fax :096-223-5606

農事組合法人 つるばみ 鶴喰なの花村

鶴喰のおばあちゃんのおにぎりはでっかい。



試験ほ場での特別栽培米の取組み



田植え後の風習「さなぼり」

菜の花ウォーキング大会

取組概要

- 「自分達の集落は、自分達で守る」との思いで、H29年、集落営農を法人化。
- 美味しいと評判の米を法人の主力商品とし、その直売に向けて、「坂本ふるさとまつり」や「関西熊本県人の集い」でPRや予約販売を実施。
- 都市住民を招いた田植え後の「さなぼり」や収穫祭、水稻後作の菜の花やレンゲの景観を楽しんでもらう「菜の花ウォーキング大会」を開催。

活動成果

- 集落営農の法人化で、休耕農地も含めて環境にやさしい農業の展開が可能となった。また米の特別栽培によるブランド化だけでなく、高収益野菜の生産や漬物加工など6次産業化も進みはじめた。
- 「さなぼり」、収穫祭、「菜の花ウォーキング大会」では、大きなおにぎりとお煮しめ、漬物、まんじゅう等手作り料理でのもてなしも好評で、地域外からの客が増加。

八代市役所農林水産政策課坂本農林水産地域事務所

熊本県八代市坂本町坂本4228-12番地

Tel :0965-45-2363

Fax :0965-45-8891

「H28九州農政局むらの宝」に選定

やつしろ菜の花ファーム 987

い草・畳表(畳)の継承と菜の花プロジェクト



菜の花商品



ドライフラワー作り 修学旅行生



い草商品(カラー畳表・ドライフラワー・市松柄寝蓑産)



菜の花米の稲刈り

取組概要

- 「い草」を主に経営。菜の花から始まる循環型農業や農商工連携により、菜の花蜂蜜、菜種油等を販売。油粕の自家製肥料で「菜の花米」を生産。さらに地酒や玄米黒酢等を商品化。
- 泥染めしない草から、カラー畳表を商品化し、輸出に着手。廃棄されるい草をドライフラワーに加工し販売。
- 食育活動として、菜の花畑での農業体験、菜の花ウォーク等を実施。

活動成果

- 循環型農業をベースにした6次産業化の取組みで、販売額は着実に増加。
- 菜の花種まきやい草ドライフラワー作りなどの農業体験、菜の花ウォーク等にはそれぞれ毎年約300人が参加し、食育イベントとして定着。
- 視察・研修団が年間150～200名。テレビ・ラジオ・雑誌・新聞などの取材も多く、農作業の合間を見て対応している。

やつしろ菜の花ファーム987
熊本県八代市鏡町宝出57

Tel :0965-52-0965 Fax :同左

ごかのしょう 五家荘宿の会

五家荘の宝を地域の誇りへ



取組概要

- 8軒の民宿でH19年に設立。利用客に評判の良いジビエ、山女魚、山菜を利用した料理をおせち料理のセットにして販売。また若い世代へ継承するため、レシピを共有。
- 料理24品目中19品目の材料は地区内産を採用。山菜の収穫や梅干づくりなどで住民の所得向上を図っている。
- 販売方法は宿泊客が宿に設置のポスター、チラシを見て申し込む。ダイレクトメールでの販売勧誘も実施。

活動成果

- 原材料の提供者が増え、安定的な供給体制を構築。材料の価格も変動させないことで生産者が安心して納品できる仕組みが確立。
- 協働での商品開発の相談を受けるようになり、山口県の実業会社との柚子茶の製造受託や尚絅大学栄養科との摘果桃の新商品開発に着手。
- 梅干しづくりなど高齢者が活躍することで、大きな生きがいになっている。

五家荘地域振興会(事務局)、商品開発担当: 中村

熊本県八代市泉町椎原148

Tel :0965-67-5888 Fax : 同左

みなまたしくぎの 水俣市久木野地域振興会

日本一の棚田(自称)のむらづくり



水源の森づくり21haの広葉樹林

ベテラン主婦を講師とした食べ物作り体験

450人を迎えるしし鍋マラソン

取組概要

- H6年に都市・農村交流拠点「愛林館」が整備されたのを契機に設立。棚田等の地域資源を活かして様々な事業を展開。
- 棚田米の味噌、地元素材によるタイカレなど加工品の製造販売、食べ物作り体験、ボランティアを募集して行う「水源の森づくり」などを実施。
- 「しし鍋マラソン」、「棚田のあかり」などの交流イベントを実施。

活動成果

- 農産加工、各種体験等の事業収入が年間約1400万円あり、研修や体験には全国から年間約1200人が訪れるなど地域経済の活性化に貢献。
- 「水源の森づくり」やイベントでは都市住民ボランティアを多数受け入れ、多くのリピーターが山村の応援団となっている。
- 当会の活動は若者の移住定住にもつながり、イターン者は10人に及ぶ。

久木野地域振興会

熊本県水俣市久木野1071番地の4

Tel :0966-69-0485 Fax :同左

うとめし 宇土飯を喰らう会

宇土の生産物を宇土の景観の中で喰らう！



第一回目の朝飯メニュー



参加者も配膳に協力

取組概要

- 「一汁一菜一景」をコンセプトに、宇土で取れた生産物を、宇土の景色の中で食べる朝ご飯イベントをH28年よりメンバー11人で企画実施。
- H29年は「長部田海床路(ながべた・かいしょうろ)」において、宇土のお米、海苔、卵、醤油、味噌、貝等を使用して3回実施。参加者は20～30名。
- 協力頂いた方々をホームページ上で「宇土のTAKARA」として掲載。

活動成果

- 朝ご飯イベントの活動を通して、宇土の生産者(海苔漁師、農家等)との繋がりが増えてきている。
- 実行メンバーとしての参加も増えてきており、地域活動に対しての広がりが出てきている。
- TV・新聞等にも多く取り上げられ、宇土の食材や景観等のアピールができ、宇土のPRに貢献。

宇土飯を喰らう会

熊本県宇土市走潟町2235

E-mail : info@uto-asameshi.net

おいだけ
老岳集落

小さな農村のみんなで作る！住民総活躍地域



手作りの「リアルかかし」



イベントでの野菜等の販売



加工を担う女性部の皆さん

取組概要

- H12年より農道等に彼岸花の植栽を開始。H23年から「山菜と彼岸花の里ウォーキングと秋の味覚祭」を開催。
- H27年から地元小学生等も参加する「田んぼアート」や「リアルかかし」の設置に取り組む。
- H28年に加工施設を整備。地元食材を使った惣菜等の製造販売に着手。加工用農産物の品目を増やすとともに、学校給食への米等の供給を拡大。

活動成果

- イベントや田んぼアートにより来訪者が年々増え、それに伴い地域住民の所得向上の意欲も高まり、加工施設の整備による惣菜の製造販売等に結びついた。
- 学校給食の上天草産の利用率はH27の25%からH28は33%へ向上。
- 住民みんなが役割を持って活躍し、活動に伴った収入が得られるようになってきている。

上天草市役所 農林水産課(問合せ先)
熊本県上天草市大矢野町上1514番地

Tel :0964-26-5516 Fax :0964-56-4972

「ディスカバーむらの宝(第4回)・グランプリ」に選定

NPO法人 ASO 田園空間博物館

田園空間博物館の理念で地域おこしと復興を



国別対応人数(H28年度)

| 順位 | 国別 | 人数 |
|----|------|-----|
| 1 | フランス | 252 |
| 2 | 香港 | 159 |
| 3 | 中国 | 147 |
| 4 | ドイツ | 131 |
| 5 | 台湾 | 122 |

観光案内所の様子と国別対応人数(表)

地震後の販売所と通販のチラシ例

取組概要

- インバウンド需要に対応するため、多言語対応の観光案内窓口を設置。また、留学生対象の地域散策イベント、7カ国の留学生による自国に向けたSNS等での情報発信を実施。
- 地元高校とのコラボにより、草原の維持に重要な「赤牛」の消費拡大を目的として、弁当を開発・販売。
- 地震により道路が遮断された中で、生産の継続、復興に向け、地域特産品の通販事業を強化。

活動成果

- 観光案内所での外国人案内数はH24年の1800人からH27年は3000人に、フランス語ブログアクセス数はH26年の500件からH28年は1万5000件にそれぞれ増加。
- 高校生プロデュース弁当の売上高はH25年の200万円からH27年は536万円に増加。草原維持再生にも貢献。
- 阿蘇の特産品に特化した通販事業はH28年に約3,883万を売り上げ、地域生産者の事業継続に寄与。

NPO法人ASO田園空間博物館
熊本県阿蘇市黒川1440-1

Tel :0967-35-5077 Fax :0967-35-5085

草原再生オペレーター組合

世界農業遺産認定の阿蘇の草原を守りたい！



草原再生オペレーター組合員と作業機械



採草作業

野草ロール

取組概要

- 20～50代の若手農家で組織する組合。農閑期や農作業の隙間時間を利用して未利用野草を収穫し、飼料や堆肥の資材として販売。
- 自治体や牧野組合からの情報・要望により未利用草地を選定。大型トラクターで採草後、ロールにし、飼料用はラッピングして保管。
- 採草したロールは、刈取り時期や状態に応じて飼料や堆肥・マルチ用として阿蘇地域内外に販売。

活動成果

- 採草面積は年々増加し、H24年の18.9haからH28年には101.7haとなっており、持続的な草原保全に貢献。
- 販売売上も、H24年の261万円からH28年には754万円と大幅に伸びている。組合員数も13名となり、地元若手農家の雇用創出にもなっている。
- H28年1月に、野草から作物の病害虫を予防する善玉菌が多量に発見され、その報道が野草販売を後押し。

<事務局> NPO法人九州バイオマスフォーラム

熊本県阿蘇市一の宮町宮地5816

Tel : 0967-22-1013

Fax : 0967-22-1014

あそ 公益財団法人 阿蘇グリーンストック

阿蘇への恩返し



野焼き支援ボランティア 輪地切り



輪地焼き



野焼き支援ボランティア研修会

取組概要

- 1995年の発足以来、草原保全に向けて活動。その一つとして市民ボランティアによる野焼き・輪地切り支援活動は、阿蘇千年の草原の歴史の中でも初めての取組として、都市と農村さらに行政が連携し、広大な草原を守っている。
- 九州を始めとして全国から野焼き支援ボランティアを募り、研修会を開催。
- 活動人数は年々増加しており、2016年度は63牧野で延べ約2,400名のボランティアが支援活動。会員数は800名超。

活動成果

- 支援活動を継続すると共に、野焼きの減少に歯止めをかけて、阿蘇の環境保全と再生に寄与。牧野面積は約5000ha、阿蘇の焼き面積の4分の1以上。
- 環境省とも連携し、草原を再生。国立公園の草原景観と希少動物の維持保全に大きく貢献している。
- マスコミに取り上げられる機会も多くなり、学生や地元の人達の参加も少しずつ増加。地元でも草原保全の意識が高まってきている。

公益財団法人 阿蘇グリーンストック(公益事業課)

熊本県阿蘇市小里656-1

Tel :0967-32-3500 Fax : 同左

株式会社 神楽苑 かぐらえん なみの高原やすらぎ交流館

ムラが輝き、夢広がる地域の創造！



家庭料理レストラン



森林教育・林業体験



遊びと癒し活動

取組概要

- 廃校利用の体験交流型宿泊研修施設を拠点に、住民グループと連携し、地域資源を活かした活動を展開。毎月第2日曜日に、地域の旬の食材を用いた家庭料理をランチで提供。
- 農林家団体と連携し、地元の子供達や、県内の高校・大学生等を対象に森林教育・林業体験の受入を実施。
- 地震の余震で怯える子供、お母さんの心をケアする為、災害ボランティア団体と連携して、体験活動を実施。

活動成果

- 家庭料理レストランの取組みにより、地域の農産物を活かした食の技が見直され、新たな特産品(キャベツメンチ)も生まれた。
- 森林教育等の展開で、体験活動の種類も広がり、体験を受入れる住民と、参加者との交流も根付き始めた。
- 震災直後からの遊びと癒し活動により、子供・お母さんを通して地域に笑顔が戻り、復興支援者も含めた交流ネットワークが広がった。

なみの高原やすらぎ交流館

熊本県阿蘇市波野大字小地野663-1

Tel :0967-23-0555

Fax : 0967-23-0556

こうし 「合志あぐっと！村」運営協議会

都市と農村の交流による魅力発信活動
 (「なんもなか！」それが農村の隠れた魅力！)



地産地消料理教室



野菜販売会「元気市」



そばの種まき体験

取組概要

- 地元の若手農業者を中心に消費者・生産者・IT関係団体や市職員などで組織。消費者と生産者との交流促進に向け、多彩な活動を展開。
- 新鮮野菜の販売会、地産地消料理教室、そばの種まき・収穫・そば打ち体験会、小学生の田植え・稲刈り体験会、酪農家見学会、食や農にまつわる講演会等を実施。
- 活動状況等は映像コンテンツやSNS等で情報発信。

活動成果

- 各種の体験は都市部の人にとって非日常を体験できる機会となっており、イベント開催に対する問合せも増加。
- 地元若手農家にとっても直接消費者と交流ができ、消費者から農業・農村が評価されることで、元気をもたらしている。
- 小学校に限らず幼稚園や保育園などから農業体験の希望や問合せが増えており、社会福祉事業の農業体験の受け皿にもなっている。

「合志あぐっと！村」運営協議会(合志市役所企画課内)

熊本県合志市竹迫2140

Tel :096-248-1813 Fax :096-248-1196

みずかみさこ 水上迫生活研究グループ

スコップの音と共に、集落一丸の地域活動



地元小学生に出前伝承料理講座



なべぶた劇団 楽器はスコップや鍋

取組概要

- 水上・迫の2集落の農家女性15名でS57年に結成。以降、農村生活の改善に向けた活動を展開。
- 共同による味噌加工・そば栽培とそば打ち・手作りほうきの加工販売、小学校での山菜おこわ等の料理教室・しめ縄づくり等の伝承活動、月1回の高齢者サロンへの昼食サービス、自衛消防活動等を実施。
- 「なべぶた劇団」の公演、フットパス受入時の縁側カフェなど交流活動を実施。

活動成果

- 集落の多様な人材を活かしていることが、35年に及ぶ活動の継続に結びついており、女性グループ活動の模範となっている。
- 世代間交流、自衛消防などの企画・実施が、地域住民に受け入れられ、集落一丸の地域活動となっている。
- 劇団活動は、農村や家庭の身近な課題を方言で表現していることが人気で、町内外から公演依頼も多く、参加者の生きがいにもなっている。

水上迫生活研究グループ
熊本県美里町畝野1575

Tel :0964-48-0235 Fax :同左

まき 真木地区協議会

豊かな緑と湧水・歴史に薫る元気な里山！



田植え体験 7団体が二日間に分かれて実施



元気塾での体操の様子



交通弱者対策の研修

取組概要

- 地区住民と行政等で組織。都市住民との交流活動、遊休農地の解消、高齢者支援にH27年に着手。
- 田植え・稲刈り体験等の交流活動を実施。地域住民による遊休農地の除草等を行い、一部作付可能とした。
- 高齢者の健康増進に向け「元気塾・ふれあいサロン」を女性有志により開催。交通対策として、地域コミュニティバスの試験的運行、先進地研修を実施。

活動成果

- 平成27年度から始めた事業を通して、区民が地域の良さを再確認。各事業の展開の中で区民の連携が強固になった。
- 地域の豊かな緑と豊富な地下水によって、地域とそこに暮らす住民は育まれているという自覚が増した。
- 地域コミュニティバスの試験的運行の結果、運行曜日や時間帯、運行車両の小型化等の課題が明らかになった。

真木地区協議会

熊本県菊池郡大津町真木412-1

Tel :096-293-4558

Fax :096-285-1672

株式会社 熊本玄米研究所

農村に黄金の実りを！米の消費拡大を応援します！！



米粉用米ほ場と玄米ペースト



「玄氣堂」店内



玄米パスタ麺 グルテンフリー

取組概要

- 栄養豊富な玄米を加工食品の原料とするため、製粉が難しい玄米を含水状態にしてペースト化する技術をH25年に開発。
- H26年より新規需要米を農家から集荷し、玄米ペーストパンを製造販売。H28年に工場を開設。新たに玄米ペーストを用いたパスタ麺を開発・販売。
- H29年はパン用「ミスホチカラ」を18軒、麺用「越のかおり」を6軒の農家と契約。合計作付面積は23ha。

活動成果

- これまで約200t（作付面積約65ha）の米粉用米を集荷。主食用米が適さなかった地域でも作りやすいと好評。
- 自社店舗「玄氣堂」の売上は年間6千万円。購入客の大半は健康への関心が高い40～60歳の女性で県外のお客様も多い。
- 店舗以外に地元百貨店やスーパー、イベント等にも出店し、認知度が上がりつつあり、H29年度は量販店、通販などに販路を拡大。

株式会社 熊本玄米研究所
熊本県菊池郡菊陽町原水2897

Tel :096-340-5500 Fax :096-340-5511

ひごむらさきブランド化研究会

阿蘇の大地に恵まれた肥後一番の旬の味



取組概要

- 熊本赤なすの新品種「ひごむらさき」の認知度を向上させるため、ホームページの立ち上げや、メディアを使ったPR、物販時にはレシピ集も配布。
- 地産地消の推進のため、県内各地で行われる物産展や農業フェア等に出展。食育では、企業と連携した収穫体験や料理教室のツアーを実施。
- 販売促進活動においては、大消費地での知名度向上を目指し、東京都での販売や販促店舗の現地状況調査を実施。

活動成果

- 取組の強化により、大消費地での新たな展開や生産者のブランド化意識の向上に繋がっている。
- イベントでの物販、収穫体験や食育ツアー、テレビ等のメディアでの取り上げ、視察や大学生の研究受入等に伴い、県内はもとより、九州各県や他地域にも「ひごむらさき」の名が浸透してきている。
- 「ひごむらさき」のブランド化を図ることにより、他の作物の生産者にも同じような意識が芽生えてきている。

事務局：高森町役場 農林政策課

熊本県阿蘇郡高森町大字高森2168番地

Tel :0967-62-1111 Fax :0967-62-1174

あそなんごうひ 阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会

神々が宿る木～阿蘇南郷檜～



高森阿蘇神社の御神木 ナンゴウヒと同一品種



テスト出品



阿蘇南郷檜育成技術研修会

取組概要

- 地域林業の活性化に向け、古くより郷土の宝として育てられてきたナンゴウヒを阿蘇南郷檜としてブランド化するためH26年より活動。
- 県内外から多数の購入者が参加する銘木展示大会において、阿蘇南郷檜の知名度の向上と新たな販路拡大を目指して、ナンゴウヒ原木を毎年テスト出品。
- 育成が難しいナンゴウヒの後継者確保に向け、指導林家を講師とした育成技術研修会を開催。

活動成果

- ナンゴウヒへの取組は、林家のみならず、山林所有者や地域住民の地域資源の再発見につながり、地域林業復活の契機となっている。
- 阿蘇地域の林家や林業関係機関、行政の連携体制構築により、継続性のある需要拡大やブランド化の推進等に対し、スピード感をもって取り組んでいる。
- 阿蘇地域のみならず、熊本県下の木材市場や製材企業へ注目度が高まり、購買意欲の醸成にもつながっている。

阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会(事務局:高森町役場農林政策課農林振興係)
熊本県阿蘇郡高森町大字高森2168番地 Tel :0967-62-1111(内線414) Fax :0967-62-1174

かあ パワフル母ちゃん

閉校校舎を活用して、地域をパワフルに！



甲佐小での出前調理講座

構成員のみなさん
(くまモンと共に)

イベントづくりの様子

取組概要

- 女性4人のグループ。H21年より小学校の廃校舎を活用して活動を開始。
- 昭和初期植栽の旧小学校の梅林を活用した「梅じゃむ」、未利用の柚子を使った「柚子こしょう」、地域の物にこだわった万能調味料の「たれ」を生産。
- 梅の収穫から「じゃむ」作りまでの実習を行う出前調理講座、地域イベントでの出店。季節ごとに開催するカフェ、敬老会等の地域行事で食事を提供。

活動成果

- イベントでの出店等の販売活動で加工品の認知度も上がり、需要が増え、生産に追われている。
- 地元NPOとの合同開催の地域イベントの集客数は年々増加しており、地域に活気が戻ってきた。
- 今後は、複数回照会のあった新たな加工品製造や、インターネット販売にも取組みたい。

パワフル母ちゃん

熊本県上益城郡甲佐町小鹿358

Tel :096-234-0762

Fax : 同左

やまと NPO法人 山都のやまんまの会

合言葉は「A」明るく！「T」為になる！「M」前向きに！



まんま学校「秋編」参加者



活動拠点「山都フラット」



まんま学校「冬編」味噌づくり

取組概要

- 子どもに焦点をあてた地域づくりを目的に活動。地域や都市の子どもたち、保護者を対象に「食」「農」「暮らしの知恵」の体験・継承と交流の場を提供するために、「山都のまんま学校」を実施。
- 農業体験(田植え、稲刈り・掛け干し)と「かまど」でのご飯炊き、収穫感謝祭&棚田ウォーク等を実施。
- 活動の中心の女性たちが、地元住民との世代間交流を進めながら、子供たちと伝統文化を継承。

活動成果

- 年4回開催の「山都のまんま学校」を通じ、子どもたちが地元の達人との関わりの中で、地域の歴史や生業の姿などを知り、様々な生き方の選択肢や見識を広めることができた。
- 20～70代の多世代・異業種の女性グループであり、有機農業の先駆者、教師、デザイナー、ピアニストなど多種多様な人が愉しく田舎暮らしを満喫し、それぞれの活動フィールドの垣根を越えて活動。

山都のやまんまの会事務局((株)まちづくりやべ企画事業部)

熊本県上益城郡山都町浜町239-3

Tel :0967-72-1723 Fax :0967-72-1724

このみぞ 幸野溝土地改良区

世界かんがい施設遺産の里「水土里豊かな幸野溝で学ぶ！」



田んぼの学校

森林の学校

ウォーキングイベントでのおもてなし

取組概要

- 農地や水路等の歴史と役割、それらを維持管理している土地改良区について普及啓発を推進。
- 地域住民や子供たちが農作業体験を通じ、農業・農業用水について学ぶ「田んぼの学校」、植林等の体験学習を通じ、農業用水と水源林の関わりを学ぶ「森林の学校」を毎年実施。
- 地元のグリーンツーリズム団体の会員として、土地改良施設を活用し、カヌー等での水路下りや隧道体験を実施。

活動成果

- 普段体験することの少ない農業体験や植林間伐作業を体験してもらうことで、自然・農業の大切さ、水土里ネットの役割を周知することができている。
- 子供たちは「農業はおもしろそう、楽しそう」等、農業に対する意識の変化や、さらなる理解も深めてきており、リピーターも増加している。
- H28年に、当土地改良区が維持管理する「幸野溝・百太郎溝水路群」が「世界かんがい施設遺産」に登録された。

幸野溝土地改良区
熊本県球磨郡湯前町2065番地

Tel :0966-43-2062 Fax :0966-43-7155

国産材品質表示推進協議会SSDプロジェクト

球磨材高付加価値商品の販売による地域貢献



丸太状熱処理併用複合乾燥施設



球磨杉の製材品

球磨桧の製材品

取組概要

- 球磨地域は樹木の成長が早く、伐期の杉・桧の丸太は直径40cm超の大径木が多い。大径木はオートメーションの製材ラインに乗らないため、売れず、林家収入減少の一要因。
- 上球磨地域の林業・木材産業関係者・建材商社によりH18年に組織。
- 大径木丸太の有効活用に向け、「丸太状熱処理と芯去り製材手法」(SSD製造法)とJAS(機械等級区分)認証を活用し、球磨産製材品のブランド化推進。

活動成果

- 球磨杉・桧製材品の販売促進に努めた結果、販売額は急速に増加。湯前町・水上村で多くの雇用が創出。
- 昨年6月に大阪市で開催の建設資材展示会に出展。需要者から大きな反響を得、本年ログハウス第1号邸が完成。
- 今後これら製品の需要増加に伴い、近く熱処理・乾燥釜の増設を予定。地元でのさらなる雇用や、高付加価値商品の販売による原木買取量の増加が期待できる状況。

SSDプロジェクト・(株)紅中
大阪府大阪市浪速区幸町3-5-24

Tel :06-6568-0341 Fax :06-6568-0395

ゆやま 湯山温泉旅館組合

ジビエがアスリートを強くする 鉄脚！水上村



高地トレーニング施設「水上スカイビレッジ」

鹿肉、猪肉、地元農産物の夕食メニュー

取組概要

- 村が今年開設した高地トレーニング施設の運用に併せ、アスリート達にジビエ料理を組合加盟の全宿泊施設で提供。
- メニュー開発はスポーツ栄養士が基本となるレシピを監修。各旅館でアレンジし、発表会を開催。競技関係者等の評価を受け改良。夏場から提供開始。
- ジビエと併せ、使用食材を地元物産館から調達。組合員が鹿肉の処理・加工施設を新設。精肉を各旅館に卸すほか、ソーセージ等の加工品を開発。

活動成果

- ジビエや地元の農産物の料理は、アスリート達のほか、一般客からも好評で、お土産やお取り寄せの要望も多い。
- 高地トレーニング施設のオープン後3ヶ月間で、合宿目的の宿泊実績は3,000人泊以上の見込みで、去年の宿泊観光客数の3割を超える。
- 施設と食事、サービスの良さから、来シーズンの合宿を予約する団体もあり、旅館側の設備投資も進むなど、地元には大きな経済波及効果。

湯山温泉旅館組合(市房観光ホテル)
熊本県球磨郡水上村湯山357

Tel : 0966-46-0234 Fax : 同左

田舎の体験交流館さんがうら運営委員会

蕎麦ではじまる 地域の元気



松谷棚田

そば播種後、手刈りでの収穫、唐箕での選別

そば打ち体験、そばカフェ、そば料理例(右上)

取組概要

- 棚田百選「松谷棚田」の遊休農地解消に向け、集落支援員の指導の下、H27年に30aのそばの栽培に着手、3年目となる本年は50a作付け。
- 収穫した「そば」は、女性グループがそば料理、特産品の開発研究を行い、そばを使った加工品・メニューが誕生。
- 交流施設「さんがうら」において、「そば打ち体験モニターツアー」、そば料理を提供する「そばカフェ」を開催。村内外のイベントに積極的に出店。

活動成果

- 景観的に重要な場所に位置する遊休農地の耕作により、棚田再生への機運が高まった。
- そばの経営的栽培が無い地域だが、耕起、栽培から収穫、そばメニューの開発・提供まで6次化へ向けた一連の取り組みができるようになった。
- 「そばカフェ」、「そば打ち体験」や各種イベントへの出店により、認知度が上がりつつあり、交流施設への来館者数が増加。

球磨村役場 企画振興課

熊本県球磨郡球磨村大字渡丙1730番地

Tel :0966-32-1114 Fax :0966-32-1230

ちゅうさんかんまつお
中山間松尾集落

遠山桜の再生と松尾集落の生き残り戦略



有害鳥獣防止柵及び電牧線の設置



大学生との交流研修会



ワラビの酢漬け

取組概要

- 戸数4戸の集落。一本桜として知名度の高い「天空に咲く遠山桜」の生育障害が発生したため、基金を創設し治療を継続。栗の収穫体験、大学生とのフィールドワーク等も実施。
- 山野で採れるワラビを酢漬けにする加工場を建設。付加価値向上に向け商品開発と販路拡大を実施。
- 鳥獣被害防止のため、守るべき農地を団地化、6.5kmの防止柵の設置や環境整備で、イノシシの被害がゼロに。H27年に農水大臣賞を受賞。

活動成果

- 有害鳥獣の研修来訪者の増加に伴い、ワラビの酢漬けが購入されるなど、地域経済に波及効果。栗の収穫体験や大学生とのフィールドワークにより、リピーターが増加。
- ワラビ加工・販売により、高齢者の生産意欲の増進と結束力の強化に繋がった。町の推奨商品に認定。物産館、道の駅など販路が拡大。
- 防護柵設置等により、鳥獣被害が無くなり、集落住民の生産意欲が高まり限界集落に歯止めがかかっている。

中山間松尾集落

熊本県球磨郡あさぎり町須恵7512-19

Tel :0966-45-5169 Fax : 同左

みどりの会

天草に^{てんじく}天竺がある



ツツジ祭り時の山頂を訪れる見物客



西遊記登山時の天竺山頂の様子



販売用郷土菓子「こっぱもち」作り

取組概要

- 「天竺」(下天草で最高峰)の山を地域の宝として活性化を目指し、平成15年の秋に初の登山会を実施。翌年から山頂一帯にツツジを植栽し、地元にも親しんでいただける公園づくりを目指した。
- ツツジが咲き誇るゴールデンウィーク時には、「天竺ツツジ祭り」を開催。麓に物産テントを設置し、地元産物を販売。
- 秋の紅葉時には「天竺天の川西遊記登山」と銘打ち、閉校した小学校跡地から山頂までの健康登山を継続して実施。

活動成果

- 春のツツジ祭り、秋の登山のイベント等を実施することにより、地区外からの流入による賑わいが見られ、地域全体に活気がみなぎってきた。
- イベントの際には、地元物産の販売を呼びかけ、これも定着しつつある。
- 継続して実施してきたことにより、「天竺の里づくり」として知名度が高まり、地区住民はその成果を実感できるようになってきた。

みどりの会

熊本県天草郡苓北町都呂々5174-6

Tel :0969-36-0576

くにさき う さ
国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会

次代へ繋げよう！世界農業遺産の輪



田染荘を散策するモニターツアー参加者

ブランド認証米

小学生向け教材本による啓発

ブドウ生産者にインタビューする高校生

取組概要

- 平成25年5月「世界農業遺産」として認定を受けた後、「次世代への継承」「地域の元気づくり」の2つを柱に取り組む。
- 「次世代継承」として、小学生には教材本配布や作文コンクールを。中学生には、生産者等を講師とする授業や「中学生サミット」を。高校生には、生産者ヘインタビューを行う取組等を実施。
- 「元気づくり」として、都市圏の方を対象に、しいたけ収穫体験などのモニターバスツアーの実施や品質にこだわったブランド認証制度を推進。

活動成果

- 世界農業遺産の認定により、住民が自らの地域に誇りを持つきっかけとなり、ウォーキングコースの開発や、廃校を活用した農村博物館の整備など、地域おこしが進展した。
- 小・中・高校生への次世代継承教育により、身近な農林水産業について見直す機会となっている。
- モニターバスツアーでは、「各所で十分な説明があり理解が深まった。」等の感想が寄せられるなど他地域との交流促進に繋がっている。またブランド認証米の販売量が増加している。

大分県 農林水産部 農林水産企画課
 大分県大分市大手町3-1-1

Tel :097-506-3525 Fax :097-506-1757

うちなり

内成の「棚田とむらづくり」を考える会

日本の原風景が語る内成棚田の魅力とパワー



耕作放棄地にコスモスを植栽



交流宿泊施設「ホリデーハウス」



地元大学と連携した稲刈り体験

取組概要

- 古民家を改修し、長期滞在型の交流宿泊施設（「ホリデーハウス」）を整備。地元の大学と連携して管理・運営。
- 会員の共同作業で遊休農地に水稲やプラム等果樹を栽培。「内成棚田米」のブランド化に取り組むとともに、収穫した果実はジャムに加工。
- 観光客誘客に向け、展望箇所へのベンチ等の設置のほか、駐車場を整備。また、耕作放棄地を復旧し、ヒマワリ・コスモス等の景観作物を植栽。

活動成果

- 「ホリデーハウス」は年平均50人程度の利用がある。また、利用者の中から1組が当地区に定住するなど定住促進にも大きな効果。
- 活動を通じて美しい棚田の景観保全の機運が醸成。これまで耕作放棄地を1.1ha解消。
- 訪れる観光客は年々増加し、季節によっては1日100人以上が訪れる。その結果、棚田を観光資源とした散策会や体験プログラムが活発化。

内成の「棚田とむらづくり」を考える会
大分県別府市大字内成太郎丸

Tel : 0977-25-6633 Fax : 同左

はま わ 浜の輪フレンド

ふるさと中津の食品を食卓に！



料理教室

ベタの一夜干しと鰯のすり身だんご

イベントでの鰯のだんご汁の提供

取組概要

- H17年に干物の製造・販売活動を行う加工グループとして発足。主に舌平目、ハモを主体とした加工品を開発。
- 加工品は地元の道の駅や、飲食店、県内のイベント等での販売の他、ネット販売も実施。
- 魚食普及として、学校給食への商品提供や、小中学校の児童や保護者を対象とした魚料理教室を開催。

活動成果

- 加工品を県内の品評会に出品。最優秀賞を受賞するなど高い評価を得ている。商品開発により販路が拡大し、会員の意欲が向上。
- 給食センターからの商品提供の依頼が増加。子供達が食べやすいように調理して提供し、好評を得ている。
- 小中学校に講師として呼ばれ、地元漁業や魚の話を行うなど、子供達の漁業への理解を深めている。

浜の輪フレンド

大分県中津市小祝525

Tel :0979-22-2103

Fax : 0979-22-6517

しんすいしき 進水式を推進する会

進水式の数は負けん！ 基幹産業造船を観光に



多くの子ども達が見学



大行列の進水式当日

取組概要

- 造船会社が3社あり、進水式をきっかけにしたまちおこしに挑戦。交流人口とその滞在時間の増加を目指す。
- 進水式を見に来た観光客を、宿泊・食事・買い物・他の観光につなげるため、壮大な進水式をポスター、旗、のぼりなどでアピール。
- 進水式の動画や今後の日程をSNSで紹介。H28年は3社合計で19回の進水式があった。

活動成果

- この活動が、新聞、テレビ等の多くのマスコミで取り上げられ、佐伯市のPRに繋がった。
- 市内では当り前の存在の造船業に光が当たるきっかけになり、市民の見学が増え、口コミによって市外からの見学者が増えるといった好循環が生まれた。
- 市内の小中学生、幼稚園児の子供たちの見学も増え、職業としての造成へ関心を高めることができた。

進水式を推進する会
大分県佐伯市城下西町

E-mail : sik9.tohno@gmail.com

漁村女性グループめばる

ソルフードごまだしで、佐伯に元気を！！



ごまだしと鯛味噌 佐伯市の郷土料理「ごまだしうどん」(左上)

女性の雇用を増やし、楽しくお仕事

託児付き魚料理教室

取組概要

- 郷土料理として衰退していた「ごまだし」の製造をH17年から開始。漁師が余った魚を焼いて、すりつぶし、ごまや醤油と合わせて作る保存食。
- うどんに載せるだけだった「ごまだし」を万能調味料として全国へ広めるべく、料理コンテストへの応募、レシピ集発行等により、その魅力を発信。
- 魚のさばき方から教える料理教室を開催。託児も設け、若い世代の食卓に魚料理が上るよう普及活動を推進。

活動成果

- ごまだしを瓶詰にして手軽に食べられるようにしたことや料理コンテストで表彰されたこと等で、その知名度が上がり、雑誌やテレビで取り上げられ、販売本数は初年度(H17年)の1,200本から、H28年には4万本まで伸ばすことができた。
- 過疎化が進んでいる町で、女性の雇用を増やし、高齢者にも簡単な作業を任せることで、働く場と生きがいを与えることができた。

漁村女性グループめばる

大分県佐伯市鶴見沖松浦1395-4

Tel :0972-33-0274

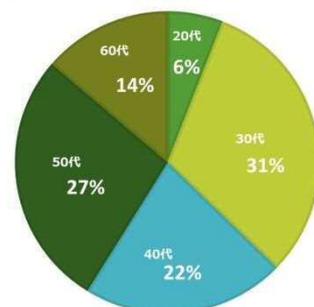
Fax : 同左

うすきツーリズム活性化協議会

臼杵時間、体感！プロジェクト



ワークショップ・ところてん作り



移住希望者モニターツアー参加者年齢構成



ワークショップ・蕁納豆作り

取組概要

- グリーンツーリズムや農泊は臼杵市野津地域を中心に推進されてきたが、市全域を対象に交流を促進するため、関係団体と行政が一体となり、各団体が行っていたイベント等をコラボさせ、新しい企画を実施。
- 臼杵市への移住希望者に農泊と日常の暮らしを体感してもらうモニターツアーや、うすきに暮らす人々が持ち合わせている生活の技や知恵を体験するワークショップを実施。

活動成果

- 移住希望者のモニターツアーは、H26年より毎年30人程度が参加。実際に臼杵市に移住した方は7組16名。移住後は「移住サポーター」や「農泊家庭」として、臼杵の魅力発信にも積極的に関わっている。
- ワークショップはH28年より竹細工、食、スツール作りなどをテーマに年10回程度開催。竹細工と布製品のコラボ商品の開発、ワークショップで学んだ料理の農泊での提供、新たなスツール商品の展開などに結びついた。

うすきツーリズム活性化協議会

大分県 臼杵市役所(市民生活推進課)

Tel :0974-32-2220 Fax :0974-32-2223

あわてばる 栗手原資源保全推進協議会

こころの故郷栗手原(かかし祭りをとおしての地域交流)



栗手原地区の景観



かかし祭り 保育園児表彰



かかし祭りの準備



かかし祭り 展示



花壇整備 ゆりの球根植え

取組概要

- H21より、高齢者から子ども達までの地域住民全体の交流を図るため、また日本古来の田園風景を守るため「かかし祭り」を始めた。
- 小学校・保育園や各種団体と連携を取り、かかしを毎年製作し、9月の1ヶ月間、農道脇に展示。優秀な作品の製作者には、地元で取れた米を副賞として配布。
- 景観形成では、植樹した「もみじと牡丹桜」の下刈りや剪定、農道の脇に花壇を作り、ゆりの球根を植栽。

活動成果

- 共同で活動することにより、美しい田園風景が守られ、地区内のコミュニケーションも図られている。
- 「かかし祭り」では、高齢者が保育園や小学校に出向き、かかし作りを指導するなど地域全体の交流が図られ、昔ながらの伝統も継承でき、また、地区外から見に来る人も毎年増えており、地域の活性化にも一役買っている。
- 多面的機能支払交付金を活用し地区全体で活動。この活動を通して後継者の育成を図りたい。

栗手原資源保全推進協議会
大分県臼杵市大字望月981

Tel :0972-62-4574 Fax :0974-32-2224

ぶんごたかだし

豊後高田市グリーンツーリズム推進協議会

国東半島の農家民泊と日本文化でおもてなし



受入家庭との対面式



受入家庭と一緒に食事づくり



農業体験

取組概要

- 平成18年に、地域活性化や農家副収入の増加を目指し、市と農家7戸が主体となり、協議会を発足。学校教育旅行受入を中心に活動。
- 外国人の団体受入を実施。3～5名のグループに分かれてもらい、農家民泊で受入れ。受入家庭ごとのありのままの生活(農作業・食事・入浴)を体験。和太鼓体験、座禅体験等も希望に応じ提供。
- 言語は指さし会話ツールで対応。食事に関するアレルギー対応や食事文化、世界各国の宗教観等の研修を実施。

活動成果

- 外国人観光客は、平成29年は7団体、240人を受入見込み。農閑期にも実施できることもあり、副収入が増加。
- 地域の活動になじみのなかった人も和太鼓やそうめん流し体験など受入プログラムに参画する中で、地域が一つになり活気が生まれてきた。
- 今後はさらに外国人旅行者を呼び込むため、英語に対応したホームページやパンフレット等広報面での整備を行っていききたい。

豊後高田市グリーンツーリズム推進協議会
大分県豊後高田市新町989-1

Tel :0978-25-5805 Fax :0978-23-1870

「H29九州農政局むらの宝」に選定

The Japan Travel Company 株式会社

インバウンド観光で田舎の継続的な社会を創出



しいたけほだ木の運搬を手伝う海外からの修学旅行生



しいたけ農家と修学旅行生



畑を耕す社長

取組概要

- H23年設立のインバウンドを扱う旅行会社。インバウンド観光は美しい田舎の風景無くしては存在しないと、社会貢献活動(コミュニティプロジェクト)として、里山の整備、耕作放棄地の再利用を推進。
- 社員30名で、社長含む社員の3割が外国人。コミュニティプロジェクトに専従する社員やパートも存在。
- 海外からの修学旅行などを受入れ、農業体験を提供。日常に行われている、その時期の農作業体験を提供。

活動成果

- 地域のお年寄りが元気になった。外国人に慣れ英語が話せなくてもコミュニケーションを上手にとる姿が見られる。
- 農作業体験は農家の労力を軽減化。地域の女性が作るお弁当や食事、市運営の宿舎等をなるべく利用することで地域に利益をもたらしている。
- 社員数は設立から約5年で4名から30名に増加。社員は全員IUターン者。人口減少の歯止めとなっている。旅行者や商談等で交流人口も増加。

ザ・ジャパントラベルカンパニー株式会社
大分県杵築市大田俣水529-1

Tel : 080-6447-5550 Fax : 0978-52-2139

ふかみ 深見地区まちづくり協議会

地域の未来 地域で考え、地域で行動



小規模集落応援・過疎区域の沿道草刈り



しめ縄作り:道の駅で販売



ワンコインバイキング(居酒屋)

取組概要

- 集落機能の低下、PTA・老人クラブ等の活動も低迷する中、各団体が相互に協力して問題解決に取り組むため、H21年に当協議会を設立。
- 景観維持のため、史跡や名所の花壇の手入れ、沿道の管理ができなくなった地区への草刈の応援、耕作放棄地への牛の放牧を実施。
- 伝統文化継承のためのしめ縄づくり、神楽の復活。交流促進のための小学校文化祭と地域の祭りの合同化。

活動成果

- 少子・高齢・過疎のため、これまで個別団体だけでは難しかった活動も各団体が相互に協力することで、復活や継続への道筋を作ることが出来た。
- 大学生とのフットパス、郷土料理を主体としたワンコインバイキングも開催。当り前の景色や習慣、料理も地域外の人と交流を行うことにより「地域の宝」として再認識することができ、住民の自信へとつながっている。

深見地区まちづくり協議会(事務局:宇佐市地域交流ステーション内)

大分県宇佐市安心院町矢畑442番地2

Tel :0978-44-4544

Fax: 同左

いわさき 岩崎農地水環境保全組合

集落内へ水を入れない、入ったらすぐに出す



定期的な農地・水路等の管理状況



ため池を調整池として
活用のサイフォン工事



小学生の麦播・麦踏、収穫体験

取組概要

- 農業者の減少・混住化が進む中、農地・水路・農道等の草刈り・泥上げ作業は、「全世帯参加」を原則に実施。
- 集落は二つの河川に囲まれ、水害の回避が課題。雨量・水位データの分析を踏まえ、ため池の調整池としての活用、揚水ポンプを川への排水ポンプとして活用等増水時の対策を実施。
- 外来生物等の駆除、学校教育と連携した稲刈り、麦・大豆栽培の農業体験を通じた食育教育等も実施。

活動成果

- 農業者だけでは最小限の作業しかできなかったが、「全員参加」で活動を行うことで、多くの参加者が様々なアイデアを出し合い、広範囲に活動が出来るようになった。参加者(延人数)もH24年の476人からH28年には974人となり、活動の種類も増加。
- 防災・減災の取り組みで、水害に敏感な住民は、水路・農道・農地の保全・向上作業は水害対策であり、農業者・非農業者を問わず共通の問題として、取り組めるようになった。

岩崎農地水環境保全組合
大分県宇佐市大字岩崎701-2

Tel :0978-37-2559 Fax : 同左

おおのまち 大野町みどり広域協定

花の社会性が地域を変える



シバザクラの開花状況

防草シート設置状況

シバザクラの植栽

取組概要

- 大野町土地改良区が中心となって、農地・水・環境保全向上対策に取り組むため、平成19年に設立。
- 農地・水路の維持保全はもとより、地区内全域を対象にシバザクラを順次植栽。各集落は雑草処理を行い、防草シートを敷く。そして植栽は集落総出で実施することで集落の連帯感を醸成。
- 新たな活動として、傾斜畑にグリーンベルトを施し、道路側溝からの土砂流出を軽減。

活動成果

- 景観保全を図るだけでなく、農作業の中で大きく時間を要する草刈り作業の軽減につながっている。
- 地域の共同でシバザクラを植栽することによって、地域の連帯感が醸成されるとともに、シバザクラの管理の面で高齢者の生き甲斐となっている。
- 傾斜畑からの土壌流出率が軽減し、排水路の土の堆積も少なくなった。新たな補助金制度を活用して、周辺地にシバザクラを植栽し、集落内の結束が強化した集落もみられる。

大野町土地改良区

大分県豊後大野市大野町田中2600-4

Tel :0974-34-2723

Fax :0974-34-2722

あねさん工房株式会社

地味こそ地の味！ 里山からの贈り物



「あねさん工房」のパンフレットより



煮込んだ摘果かぼすのビン詰め



かぼす搾汁

取組概要

- 増加する耕作放棄地や少しの傷が原因で廃棄される大量のかぼすを有効活用するため、H21年に起業。
- かぼす園地100aの管理の引受、放棄地770aの購入・新植。青果の販売のほか、加工所を建設し、青果とならないかぼすや摘果かぼすを使った商品（かぼす果汁、マーマレード等）を開発。
- 商品コンクールへの応募など積極的に販路開拓。かぼす園の管理や加工品の生産で地域住民を雇用。

活動成果

- 耕作放棄地が減少。かぼす青果と加工品の生産量が増加。加工商品数量はH24年の1500kgからH29年には8500kgと約6倍増。現在の従業員は社員4名、パート10名であり、地域雇用にも貢献。
- 将来的には、従業員にかぼす園地の管理を任せ、技術習得と向上をはかり、「のれん分け」する予定。生産したかぼすは当社で買上げ、新規就農者を定着しやすくし、就農人口増で地域の活力向上を図る方針。

あねさん工房株式会社

大分県豊後大野市緒方町冬原832-3

Tel :0974-45-2928

Fax : 0974-45-2930

地域起こし協議会 文溪里の会

自然が生き、人が生き、地域が生きる文溪



世界農業遺産と名跡を巡るウォーキング

地域共同で作成した案山子

世界農業遺産を伝える農村博物館

取組概要

- 旧小学校区の全住民を構成員に、H24年設立。H25年の世界農業遺産認定を活用した地域づくりを推進。
- 地下水路(貫)、ため池、クヌギ林を活かしたウォーキング大会を春と秋の2回開催。参加者には地元食材を使った炊き込みご飯や猪汁でおもてなし。
- 「とみくじマラソン」の参加者の応援目的でコース沿道に案山子を設置した取組みが「案山子祭り」に発展。旧小学校校舎を活用して「農村博物館」を開館。

活動成果

- 先人たちが作り上げたクヌギ林とため池がつなぐ循環システムを正しく理解でき、その啓発・伝承の具体的な取組を通して、地域住民の結束が向上。
- 各種イベントに地域外からも多くの方が参加。交流人口が増加。
- 小・中学生もしいたけコマ打ち体験等に取り組み、地域の農業や自然に対する理解を深めている。昔の農具や大工道具等を展示した「農村博物館」も注目を集めている。

地域起こし協議会 文溪里の会
大分県国東市国東町富来2271-3

「H29九州農政局むらの宝」に選定

しちとうい くにさき七島藺振興会

貧乏草から長者草、埋もれた宝が地域を変える



世界農業遺産や地理的表示などの認証の積極的な取得

砂浜利用の原草干し「浜干し」

キューバからの視察

取組概要

- 畳の需要減、生産者の高齢化等により、産地消滅の危機を迎えた豊後特産の七島藺を地域産業として再生させるため、当会をH22年に発足。
- 七島藺の魅力を発信するため、物産展等のイベントに参加。メディアを通じてPR。「世界農業遺産認証品」の認証を受け、農水省の「地理的表示保護制度」の登録をH28年12月に取得。
- 砂浜を利用した原草干しを再現するなど七島藺を地域文化として継承。

活動成果

- 当会の活動により、七島藺が各種メディアに取り上げられ、Uターンでの後継者が現れ、伝統産業として見直されてきた。また、世界農業遺産の候補地や登録地から視察が増加。
- 今年度から「地理的表示保護制度」の認証を活用した高付加価値販売の取組も開始された。
- Uターン新規就農者の支援の機運が高まってきている等、七島藺の再生で地域の元気も取り戻されつつある。

くにさき七島藺振興会

大分県国東市安岐町富清3209番地

Tel :0978-65-0800

Fax : 050-3444-2916

せんちょうむた 千町無田資源保全組合

高原の美しい田園風景を後世に



農道・水路の草刈り



クリームソクローバーの種まき

クリームソクローバーの開花状況

取組概要

- 平成19年、農業者をはじめ、地区の自治会、老人会、子供会、消防団、土地改良区等地域ぐるみで農業資源や環境の保全を目的に設立。
- 農道や水路の草刈り・清掃や、花の植栽などを地域全体で取り組むことにより、美しい農村を維持。
- 阿蘇・くじゅう国立公園内の美しい自然を背景に、農道沿いの約400mに水仙、約1kmにわたるクリームソクローバーなどの植栽で美しい景観を形成。

活動成果

- 農道の脇を除草し、花を植栽することで、美しい景観を地域の人や道行く人に楽しんでもらうことができている。
- 除草や種まき、手入れなど、地域ぐるみで取り組むことによって地域全体の雰囲気良くなった。
- かつては葎の茂った沼地。開拓者たちの努力で現在の美しい農村へと生まれ変わった。この農村風景を維持、形成していくために今後とも地域一体となって活動を続けていきたい。

千町無田資源保全組合

大分県玖珠郡九重町大字田野2415番地576

Tel :0973-79-2804

「H29九州農政局むらの宝」に選定

たかぎ 農事組合法人きらり農場高木 生活部加工班

“キラリ”と輝く 大地の恵み



取組概要

- 平成18年より集落営農の加工班として農産加工を開始。郷土料理「がね」を手作りする家庭が減少する中、「おから入りがね」を商品化。
- 里芋・薬膳・トマトコロッケなどの惣菜類、「あわせ味噌」「完熟トマトみそ」「都城ゴボウみそ」などの商品を開発。
- 食材の殆どを集落営農の農産物を使用。販売はJA関連施設での店頭実演販売の他、展示商談会や催事、販路開拓関係行事に積極的に参加。

活動成果

- 食文化の伝承をしながら売上げは着実に増加(H28年は約1500万円)。また、商品開発、販路開拓に向けた加工食品や販売戦略の知識習得などが、班員のやる気を引き出し、法人そして地域全体の活性化へと波及。
- 地元農業高校の生徒を対象とした農産物の収穫体験、農産物加工の実習、保育園児を対象とした出前食育講座も実施。将来を担う子供たちや若手の育成に大きく貢献。

農事組合法人きらり農場高木 生活部
宮崎県都城市高木町6849-1

Tel : 0986-38-6246 Fax : 0986-38-2442

とくしげこうばいえん 有限会社 徳重紅梅園

無農薬生産、無添加加工品を消費者へ直販



特上の実をつける樹齢50余年の鶯宿梅



畑に散布する堆肥は、10a当り5t以上



草生栽培の草刈り(1年に6~8回)

取組概要

- 「先祖伝来の自然の摂理に沿った生産法と、知恵の加工法を正しく次世代へ伝承する」との企業理念。
- S37年より、在来品種「鶯宿梅」を野草や堆肥など有機肥料を用い、無農薬で栽培。梅園は大淀川源流に広がる傾斜地等で現在7ha。青梅は添加物等を一切使用しない梅干、梅肉エキス等に加工し、直売。
- 鹿児島県大根占町の梅生産者に有機栽培を指導、青梅を買取る等支援。

活動成果

- 「鶯宿梅」の無農薬生産を確立するとともに、他地域へ波及。「有機栽培実践農場」として、自社の畑を提供し、有機栽培の家庭菜園を実習・指導。
- 梅園の造成で大淀川源流の集落の過疎化対策と景観保全・自然保護に貢献。周辺にも植林が進展。
- 無添加の梅加工品は全国の顧客から高く評価。発送商品の緩衝材として、自家生産の有機野菜を同封し、有機栽培の良さを全国に発信。

有限会社 徳重紅梅園

宮崎県都城市平塚町9825番地

Tel :0986-22-6325 Fax :0986-22-2809

きた 北きりしま田舎物語推進協議会

はじめまして！の後は、もう家族。



インバウンド受入



台湾訪日旅行説明会



浴室と食品衛生の講習会

取組概要

- 農家民泊を推進するため、H18年に当協議会を設立。現在の会員80名。
- H25年に農家民泊による県外修学旅行の受入に着手。簡易宿所の営業許可取得、食品衛生講習等の受講を必須とするなど安全管理を徹底。
- 修学旅行受入時期以外の期間を活用したインバウンド受入に向け、シンポジウム参加等による知識習得、香港や台湾での観光説明会への参加によるPR活動を実施。

活動成果

- 地域のありのままの暮らしを生かした農家民泊で年々修学旅行の受入が増加。H29年の受入数は約2100人うち約1800人が修学旅行。インバウンドの受入も、H29年は香港の小中学生の教育旅行60人を受入予定。
- これまで地域に無かった滞在型の修学旅行受入により、農家の所得向上はもとより、ふれあいを通じた心の精神的効果も得られた。協議会の会長及び副会長は女性であり、女性が中心となって活動。

北きりしま田舎物語推進協議会(八幡原市民総合センター内)

宮崎県小林市堤108-1

Tel : 0984-22-3020

Fax : 0984-22-3020

ざいこうじ 財光寺農業小学校

さあ、広げよう 農業小学校



取組概要

- 地域の農業経験者や退職者が中心となり、体験・実践型の食育を企画し、地域の子どもたちに自ら土に触れ汗を流し収穫の喜びを実感させるため、H21年に開校。
- 農業への感謝の気持ちを養うため、入校条件は、①収穫野菜をご先祖に供えること、②苦手な野菜を育てること、と設定。また、シニア世代も対象にし、交流の場として盛況。
- 小学校のバザーや駅前市などで、子どもたちは、配る・売る喜びを体感。

活動成果

- 小学生のほか、シニア世代も対象としたことから、世代間の交流の場や高齢者の生き甲斐の場となっている。地域振興のモデルとして視察も多く、他地区へ波及。市内外で3校が開校。
- 季節ごとに多品種の栽培を指導し、苦手意識を解消させると共に、農家の苦労と食物の尊さを体感させている。
- 東日本大震災、熊本地震の被災地に、収穫したタマネギとともに励ましのメッセージを送るなど復興にも貢献。

財光寺農業小学校(日向市役所農業畜産課)

宮崎県日向市本町10番5号

Tel :0982-52-2111

Fax :0982-52-0250

きりしま 霧島会

国内需給率0.1%の国産ごま生産への挑戦



霧島会メンバー



定期的に勉強会を行う

地元高校調理科による
ごまを使用した丼を開発

取組概要

- 定年退職者が「ごま」の産地復活に向け、H20年に有志12名で栽培開始。
- 当地にあった栽培方法を試験研究。新規生産者向け栽培マニュアルの作成や研修会を開催。品質向上や作業軽減化等に取り組んだ。生産者の拡大に向け、テレビや新聞等で情報発信。
- 会員農家が加工施設を整備し、加工品開発に着手。商工会等で構成するプロジェクト委員会を組織。東京での商談会や県外での物産展に出展。

活動成果

- 発足当初12名だった会員も、44名に増加し、栽培面積も着実に拡大し、H29年は10ha。
- 国内需給率0.1%の国産ごまの取り組みは多くのマスコミが取り上げ、高齢化や鳥獣被害にも効果的で市場性も高いことを紹介した結果、本町以外にも都城市や宮崎市、大分県佐伯市等でも生産者が拡大。
- 県外の小売店や飲食店、加工業者の利用も増加。

霧島会

宮崎県北諸県郡三股町大字蓼池354-2

Tel : 090-2629-4772

しきさい 四季彩のむら

昭和30年代の風景が残る、彩りあふれる里山



取組概要

- H13年、町の「四季彩のむら整備事業」を活用し、地権者12名で「四季彩むら」を設立、昭和30年代の農村風景を残すことをコンセプトにむらづくり。
- 石積みの棚田で春はレンゲや菜の花、夏は水稻、秋は稲穂の掛け干しやソバなど昔ながらの四季の景観を再現。地域住民や来訪者に環境学習と安らぎの場を提供。
- 「田植え・稲刈り体験」、「彩りリレーマソン」、「田んぼアート」などのイベントも開催。

活動成果

- イベントの開催により来訪者を呼び込むことで、地域内の温泉施設の利用者の増加や、「高鍋湿原」の見学者の増加など、相乗効果が見られる。
- 近隣の加工体験施設「たかなべ食彩工房」においても、コメの精米・製粉、ソバの製粉及び料理教室等の開催で、集客に効果を上げている。
- 今後も四季彩のむらを基点に、老若男女問わず楽しめるイベントを開催し、周辺地域の活性化につなげる。

四季彩のむら

宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437番地

Tel :0983-26-2021

Fax :0983-23-6303

そめがおか

染ヶ岡地区環境保全協議会

きゃべつ畑のひまわり祭り



染ヶ岡台地のキャベツ畑 九州有数の産地



ひまわり畑の花見台



ひまわり畑を歩く来場者

取組概要

- きゃべつ・白菜の産地。H22年発生
の口蹄疫により、元肥として施肥して
いた堆肥の持ち出しができなくなった
ことから、緑肥としてひまわりを活用。
- ひまわり植栽は年々拡大。活動5年
目のH26年以降、80haの植栽を継続。
- 広大なひまわり畑を活かし、人を呼
び込むため、ひまわり迷路や花見台
を設置するとともに、見頃を迎える8
月中旬の土日に「きゃべつ畑のひま
わり祭り」を毎年開催。

活動成果

- ひまわり植栽は景観だけではなく、後作
のリン酸吸収の促進効果があるるとも
に、キャベツの連作障害の回避にも
なっている。
- 新聞、TVでも取上げられ、インターネッ
トでも情報を発信。ひまわり祭りには全
国から1万6000人(H29年)が訪れるよう
になり、町、商工会、観光協会等各種団
体も参画する町を挙げたイベントに定
着。種まきイベントやポスターのデザイン等で
女性農業者が活躍。口蹄疫からの復
興・再生の象徴的存在となっている。

染ヶ岡地区環境保全協議会(高鍋町産業振興課)

宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437番地

Tel :0983-26-2021

Fax :0983-23-6303

おがわさくご やむら
小川作小屋村運営協議会

平成の桃源郷 小さな村の大きな挑戦！



おがわ作小屋村店舗

メインメニュー(おがわ四季御膳)

カリコボーズの山菜まつり

取組概要

- H17年時点で高齢化率70%以上の地区。レストラン「おがわ作小屋村」にて、地元の食材で地元のおばちゃん達が食事を提供。メイン料理「おがわ四季御膳」は、多いときは1日100食以上提供。月ごとに料理内容が変わるため毎月食事に来る人も多い。
- 作小屋村の前の山林を花見山に整備中。これまで桜を中心に約8,000本の花木を植栽。また、アクセス道路の県道沿線に、「桃源郷」の入口らしくハナモモを植栽。

活動成果

- 地域イベントとして毎年5月の「カリコボーズの山菜まつり」、中秋の名月の頃の「月の神楽」を企画・運営。また、大型バスツアーも受入れ、年間の店舗来店者数は約1万8000人。
- 事業開始からUターン・Iターンが20名移住。うち3名が店舗運営に従事。若い力が入ってきたことで地区に活気が戻ってきた。主役のおばちゃん達は平均年齢73歳。メニュー検討や食材集めに毎日頑張っている。

小川作小屋村運営協議会

宮崎県児湯郡西米良村大字小川254

Tel :0983-37-1240 Fax : 同左

だとめ 駄留集落

一人はみんなのため、みんなは一人のため、出来る事から始めよう。



電気防護柵の設置



緩衝帯の整備風景



獣を食べよう会

取組概要

- H23年から集落ぐるみで鳥獣被害対策を実施。潜み場所や獣道、餌となる木の実や放任果樹など住民全体で点検。マップ化し、住民の認識を高め、対策の検討材料として活用。
- 高齢者がロケット花火を使い獣の追い払い活動を実施。それを労う趣旨で、H23年より「獣を食べよう会」を開催。集落の大イベントとして定着。
- 緩衝帯の整備と合わせて遊歩道の設置や山桜・椿・山茶花等を植樹。

活動成果

- 獣被害がほぼ無くなり、安定した農作物の収量を確保。水稻の作付けも増加し、「だとめ米」の特産化に向けた取組みに結びついた。植栽した椿を使った椿油の試作など、集落内の女性が中心となって特産化に着手。
- 地域の連帯感が生まれ、「獣を食べよう会」、地域住民の交流の場としての山桜・椿・山茶花等の植樹、視察受入等にも積極的に取り組み、地域内外の人的交流が促進。

駄留集落

宮崎県児湯郡木城町大字高城2830-2

チームがはは

《できたよ～！浜うどん》



東児湯鍋合戦2011に参戦 優勝



学校給食 浜うどんサラダ



特定健診の受診者への振る舞い

取組概要

- H22年の口蹄疫からの復興を目指し、地元JA・漁協・商工会等の異業種の女性グループ(10名)が「東児湯鍋合戦2010」に鍋メニューを作り、参戦したのが活動の始まり。
- H23年の鍋合戦に、魚を練り込んだ麺に改良し再挑戦し、優勝。郷土食の麺とするため、地魚シイラを使って改良を加え、H24年に現在の「浜うどん」が誕生。長期保存麺を開発。地域の飲食店及び直売所で販売。現在、年間1万食以上を製造・販売。

活動成果

- 優勝を機に「浜うどん」を地元メディアにPRすることで、県民にアピールできた。川南名物「シイラ」の使用で地産地消に繋がった。また、乳性カルシウムを加えて栄養価の高い麺に仕上げ、学校給食、介護食、離乳食にも活用。「浜うどん」を使用した小・中学校での調理実習をとおり「口蹄疫」を伝承。
- 東北震災被災地でのふるまい、高原町からの小麦粉の購入で新燃岳噴火の復興支援にも貢献。特定健診でのふるまい等にも取り組んでいる。

チームがはは

宮崎県児湯郡川南町大字川南13680番地1 Tel :0983-27-8014 Fax :0983-27-5879

合同会社 あまてらすの娘たち

高千穂の、食を伝えよう！食で繋がろう！



干し鱈の煮つけの缶詰

昔ながらの仏事の食事を体験

日替わり膳

米粉ピザ

食のコミュニティでの一場面

取組概要

- H28年設立。廃校利用のレストランや山奥のカフェの運営、町産食材使用の加工品製造・販売を実施。
- レストランでは、山菜・野草を中心に、直売所の野菜を使った料理を提供。棚田や雲海の景観が楽しめるカフェでは、米粉を使ったスイーツを提供。
- 加工部門では、近年、家庭で作られなくなってきた郷土料理の干し鱈の煮つけ「ぼんだら」の缶詰の他、地元農産物で加工品を製造・販売。

活動成果

- 加工に用いる農産物は、高齢化でA品生産が難しくなったことを受け、A品以外で開発・製造、また生産者宅に出向いた集荷などで高齢者に貢献。
- 食のイベントも開催。若者から高齢者、観光客も参加。世代間、農家・非農家、町民と観光客の交流を後押し。
- 世界農業遺産関連のイベント等に協力し、食文化の情報発信に貢献。中学生の職場体験でも利用され、ふるさと教育の一端も担っている。

合同会社あまてらすの娘たち

宮崎県西臼杵郡高千穂町大字向山1232

Tel :0982-83-0808

Fax : 0982-83-0809

「H28九州農政局むらの宝」に選定

ごかせ 特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校

日本一の清流五ヶ瀬川上流で行う持続可能な村づくり



取組概要

- 町内の若手中心の組織。自然、資源、人を最大限に生かした地域づくりを行うため、農林業、エコツーリズム等を組み合わせた事業を展開。
- 地元小学校の児童全員に放課後毎日、農作業、昔遊び、自然体験など生きる力の教育を地域住民が行う「放課後子ども教室」を実施。
- 農業法人を設立。地元産米を「四億年の大地」という名で、また世界農業遺産認定を受け、左近太郎精米を復活させ、その米を「負け知らず」という名で直売。

活動成果

- 「放課後子ども教室」は13年目、毎年30名程度を維持。五ヶ瀬川流域の子ども達を対象に、季節に応じたキャンプも年34回開催。680人程度が参加。
- 「四億年の大地米」は9t程度の販売量で安定。法人の農業経営に従事する移住者に子供が生まれるなど活性化に貢献。耕作の依頼も増加。
- 全国組織と協働で熊本地震の被災地支援も実施。50tの支援物資を配送し、延1752人のボランティアを派遣。

特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校

宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字鞍岡6452乙

Tel :0982-73-6366

Fax : 同左

いずみ民泊体験推進協議会

観光と連携し、田舎にインバウンドの風を



台湾の団体ツアー、農泊後の着物体験



農家での夕食は、鹿児島の田舎料理



みかん収穫は出水の人気体験

取組概要

- H23年から修学旅行生を農泊受入。最大280名規模。H29年の受入数は3000人。香港等海外教育旅行も受入。
- 海外一般ツアーの旅行商談会に参加。農泊・ツル・武家屋敷での着物茶道体験をセットでPR。台湾等の団体ツアーを農泊で受入。香港線のLCC就航に伴いFITにも対応。H28年のインバウンド農泊は276人。
- 留学生による観光資源調査。受入農家がタブレット活用で多言語対応。

活動成果

- 滞在型のため、ツル観察センターや武家屋敷の外国人観光客も増加し、地域全体に経済効果が出てきている。
- 農泊+ツル+武家屋敷での着物着付け体験と組み合わせることにより、出水での1泊2日のモデルコースのツアーが台湾を中心に定期的に組まれるようになった。
- 受入農家のタブレット導入による翻訳ソフトの活用により、言葉の不安は和らいでいる。

出水市シティセールス課国際交流室
鹿児島県出水市緑町1-3

Tel : 0996-63-4059 Fax : 0996-63-1331

さつ ま せん だい し

薩摩川内市グリーン・ツーリズム推進協議会

地域資源を活用した3カアップへの取り組み
 ～ 「実」カ・「味」カ・「me」カアップ ～



教育旅行生の受入



海外からの修学旅行生受入れ研修会



協議会ホームページ

取組概要

- 本協議会は修学旅行生を対象に農家民泊の受入を行うために組織化。一般旅行者やインバウンドの受入も視野に農家民泊資格取得の増加や新たな体験プログラムを開発。
- 農家の現状を分析するとともに、民泊受入マニュアルを作成、受入スキルの向上とホームページで活動を発信。
- 郷土料理や地元産品を活用するため、オリジナルレシピを開発し料理実習会を開催。

活動成果

- 本協議会の受入状況の分析と体験メニューの精査を行い、受入マニュアル作成により、安全安心な民泊受入が実践されている。
- ホームページを活用、多言語化、活動の動画配信などにより、海外からの教育旅行の受入も可能となった。
- オリジナルレシピを受入の際に提供し、好評を得ている。新規会員の増加につながっている。

薩摩川内市グリーン・ツーリズム推進協議会(薩摩川内市 観光・シティセールス課)
 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号 Tel :0996-23-5111 Fax :0996-25-1704

たかやま NPO法人 がんばろう高山

課題と向き合う地域のちから



取組概要

- 高齢者送迎事業への取組みを契機に、H25年に地区住民全員でNPOを設立。農作物の共同出荷をH27年から実施。28世帯の出荷者から集荷、10km離れた直売所に出荷。帰り便を活用して直売所の商品を届ける買い物サービス等を実施。
- 体育館やピザ窯、研修宿泊施設等を備えた旧小学校跡の交流施設を拠点に大学の合宿、棚田散策や米作り体験等を受入。秋祭りでは、農作物の販売や石窯ピザ体験などで交流。

活動成果

- 共同出荷により、野菜が「売れる」ことで、生きがいや健康づくり・所得向上へと結びついた。また買い物難民の解消、高齢者の見守り等支え合う地域づくりに寄与。棚田米の販売にも取組み、交流イベント等で毎年完売。
- 交流人口は年々増加傾向。交流施設の利用者数は年間6千人。特に大学の音楽サークルとの交流は10年以上継続。180人足らずの集落に多くの子どもや若者が滞在・交流することで、活気が戻った。

日置市役所 農地整備課

鹿児島県日置市伊集院町下谷口1960番地1 Tel :099-273-2111 Tel :099-273-8877

かれいがわ
佳例川地区自治公民館

百年の眠りから覚めた幻のサツマ芋「蔓無源氏(つるなしげんじ)」



集落住民の協力により開設した「かれがあの焼酎屋」



企業による佳例川でのウォーキングイベント

プライベート焼酎「蔓無源氏」

取組概要

- 大正時代に栽培されていた希少芋「蔓無源氏」を3年かけて復活。それを原料とした焼酎を地元酒造メーカーと連携して製造。H25年に集落住民手作りの「かれがあの焼酎屋」をオープンし、焼酎を販売。
- 菱田川源流域の水が育んだ良食味米を「佳例川源流米」として販売。大学や地元企業と連携し、収穫期にウォーキングや社員食堂での利用イベントを開催。H27年にはミラノ万博日本館イベントへ展示し、PR。

活動成果

- 焼酎は年2千本販売。収益の一部を集落に還元。焼酎原料の芋は耕作放棄地を再生し栽培。作付面積は約8ha。耕作放棄地の縮減にも繋がっている。「かれがあの焼酎屋」は、地域内の情報発信の拠点施設となり地域活性化に貢献。
- ウォーキングや地元企業と連携したイベントには、地域内外から多くの参加があり、野菜や加工品等の販売も行い、地元農産物のPRや販売促進、交流拡大につながっている。

佳例川地区自治公民館
鹿児島県霧島市福山町佳例川1541

特定非営利活動法人 エコ・リンク・アソシエーション

アートプロジェクトと農家民泊事業ならおまかせ



農家民泊 昼食の時間



農家民泊 かぼちゃの後片付け



花渡川アートプロジェクト

取組概要

- H13年より中高生の修学旅行を対象とした農家民泊事業を「かごしまグリーン・ツーリズム協議会」(関係19市町で構成)と連携して推進。民泊では、家族同様に迎え、恵まれた自然環境の中で、都会で経験できない体験を提供。
- 国際的な環境アートで活躍する「水」のアーティストを招へいし、多くの人の力と知恵を結集して環境アートを作る「アートプロジェクト」をH8年より、万之瀬川、花渡川、枕崎市木口屋集落で実施。今年から屋久島にて実施中。

活動成果

- 農家民泊での修学旅行の受入は、順調に増加。H26年以降は年間1万4千人程度を受入。受入地域も当初は薩摩半島の西半分であったが、現在は薩摩・大隅半島の全域に広がり、受入家庭は約1,000軒。
- アートプロジェクトでは「水」をテーマに展覧会を行い、作家が提案した作品を地元住民で制作。その作品を世界に向けて情報発信。展覧会終了後は、図録の製作を行い世界の人と共有。

特定非営利活動法人 エコ・リンク・アソシエーション

鹿児島県南さつま市加世田本町53-6

Tel :0993-53-7270 Fax :0993-76-0022

98 鹿児島県 南さつま市

6次産業化

医療・福祉

雇用

「H29九州農政局むらの宝」に選定

なんふう 株式会社 南風ベジファーム

6産業化＋福祉で地方の問題を解決！



夏の赤しそ。朝収穫してすぐに塩漬



高床式砂栽培でヘビーリーフ生産



芋苗植えの受託。今年は10ha

取組概要

- 借り手がなかった砂地4haを借り受け、赤しその栽培を復活。裏作で青高菜などを栽培。加工施設を新設し、漬物に加工・販売するほか、漬物メーカーから浅漬製造を受託。
- 栽培加工作業に障がい者が従事。障がい者の特性に合わせた作業を訓練。足が不自由な方でも作業できる栽培施設を導入、ヘビーリーフを生産。
- 地域農家の人手不足の解決に向け、ラッキョウの収穫作業等を受託。

活動成果

- 地元のスーパー等に野菜、加工品を出荷することにより、農業出荷額は年々増加し、H28は約5100万円。
- 開業後5年で、60名を超える雇用を創出。特に障害者が働きやすい職場づくりを行い、多くの障がい者を雇用（就労継続支援施設を併設）。
- 農作業受託により地域農家の営農継続に貢献。また離農前の高齢農家とその農家の農地で一緒に農作業も実施しており、円滑な農地の継承が行われている。

株式会社 南風ベジファーム

鹿児島県南さつま市金峰町高橋3075-35 Tel :0993-77-3932 Tel :0993-77-3933

なかっがわく 中津川区むらづくり委員会

まだまだ、道半ば……。伝統を引き継ぐ“中津川の底力！”



大祭の様子

にぎわう日曜朝市

金吾さあ焼酎

取組概要

- 400年以上にわたり、「金吾さあ」の名で慕われた島津歳久を偲び受け継がれてきた「金吾様踊り」を地元の大石神社秋季大祭へ奉納。集落ごとに継承されている多彩な踊りを奉納。後継者を育成するとともに、廃れてしまった一部の踊りを復活。
- 活動資金を得るため、遊休農地を利用してさつまいもを栽培。地域独自の焼酎銘柄「金吾さあ」を製造・販売。また「なかっこ日曜朝市」の施設を建設し、地元産の野菜や加工品を販売。

活動成果

- 「金吾様踊り」を「人を呼べる祭」とするため、新聞やテレビを通して積極的にPR。その結果、地区内外から約1600人の観客で賑わう。
- かめ仕込みで熟成させる「金吾さあ」は、当初(H19年)の400本からH29年には1,200本と着実に製造量が増加。収益金の一部で「金吾様踊り」に掛かる経費の大部分が賄われている。
- 日曜朝市も年々、販売高が増加。生産者と消費者との交流が促進。

さつま町役場

鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋地1565-2 Tel :0996-53-1111 Fax :0996-52-3514

やくにくくやどっとこむ
合同会社 89298.com

ヤクシカ ゼロ・エミッション



取組概要

- 有害駆除として捕獲されたヤクシカが利用されていない状況に心を痛めた猟友会の有志によりH25年に設立。
- 屋久島で捕れたヤクシカの肉を、島内を中心に鹿児島市、福岡県や東京などに出荷。捕獲される年間約5,000頭のヤクシカのうち、10%程度を解体・精肉し流通。
- クズ肉などを利用し、ペットフードを製造。Amazonなどを活用し、全国の消費者に向け販売。また、SNSで広報。

活動成果

- ヤクシカの肉は他の鹿肉より「甘みを感じる味わいとフルーティーな香りでもとても柔らかい」と好評を得ている。
- ペットフードはお土産物として、特にペットを預けて来島した方々に喜ばれている。また、野生鹿のラーメンが新たな特産物になりつつある。皮を靴・ジャケットなどに製品化し、その堅牢性などが高く評価されている。
- ヤクシカが島の資源になり得るとの認識が広がってきた。

合同会社89298.com

鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦421-34

Tel : 0997-42-1129

Fax : 同左

やくしまみやのうら
株式会社 屋久島宮之浦加工グループ

世界自然遺産の島のこだわりを食卓へ



取組概要

- 果樹同好会婦人部、生活改善グループの活動を経て、H7年に缶詰等の営業許可を取得。H26年に法人化。
- たんかん、ぽんかんや屋久島の軟水等を使った特産品開発に研究を重ね、東京農大や県の指導センター等の技術支援も受け、商品化を推進。近年は甲南女子大の学生と商品を共同開発し販売。
- 小・中学生への食育活動がきっかけで、加工品を学校給食で提供。島内の中・高校生や島外の修学旅行生を対象に加工体験の受入も実施。

活動成果

- 「屋久島にこだわった手作りの味を届けたい」との商品作りは各種コンクールで多数受賞するなど高く評価。18種類の商品を開発。
- 島内約20店舗、島外約10店舗のデパート等で販売。平成28年にはJA鹿児島ギフト商品として取引されている。売上も販売開始時の300万円弱から1300万円程度まで伸びている。
- 女性の加工組織として島で初めて営業許可を取得、販売を開始したことが、島内5つの加工組織の起業に貢献。

株式会社 屋久島宮之浦加工グループ
鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦2204-4

Tel :0997-42-0549

きかいしま ゆ
合同会社 喜界島 結い

キラリと輝く島の食の継承としま興し



島内祭りで喜界島特産品をPR

喜界島産白ゴマ使用のクッキー

取組概要

- 地元産品を活用した地元振興に向け、町内加工場を利用し、ごま商品の研究・開発を開始したのがきっかけで、H15年に設立。H27年に法人化。
- 助け合い励まし合う「結いの心」をモットーに、消費者と共に喜び合う安心・安全の島の特産品開発を推進。
- ごま・みかンドレッシング、そら豆茶、黒糖そら豆粉、豆菓子等を開発。島内の加工センター内等で販売。併設するカフェで、喜界島産に拘るパスタ等を提供。

活動成果

- 加工品の開発・販売で地域活性化に寄与。法人化で島内での雇用促進、6次産業化に貢献。売り上げは、着実に増加し、H27年度は約1500万円。
- カフェは、観光客や島内住民に親しまれ、サラダに使用し好評のそら豆クルトンを今年から商品化し、販売。
- 観光船寄港時への出店、首都圏の奄美群島物産展への出展、自社フェイスブックでの喜界島の魅力の発信など島のPRに貢献。

喜界町生活研究グループ連絡協議会・合同会社 喜界島 結い
 鹿児島県大島郡喜界町湾1298番地

Tel :0997-65-0958

Fax : 同左

きかいちょう 喜界町農産物加工センター

在来農作物を活かし、キラリと輝くいい島へ



島そら豆しょうゆの販売状況

かごしま新特産品コンクールで受賞

かごしま食の大交流会

取組概要

- 喜界町の農産物を活用した特産品の開発育成のため、H18年に設立。
- 在来の島そら豆を使用した豆醤油を開発。デザイナー経験者の地域おこし協力隊員とともに、ラベルデザインや価格設定を行い、H28年の県の新特産品コンクールに応募し奨励賞を受賞。
- 東京の県物産展等に出店し、販路を拡大。親子を対象の島そら豆収穫体験を行い、その価値を次世代に継承。

活動成果

- 島そら豆は、自家消費や緑肥としての利用だったが、醤油の原材料として活用し商品化することによって島そら豆の価値が上がり島内外の企業から注目を受けるようになった。
- 収穫体験はSNSを活用して集客。多くの参加者を集め、島そら豆に興味を持ってもらうことができた。
- ブログ、フェイスブックを開設。そら豆醤油は小麦・大豆アレルギーの方にも使える醤油として、グルテンフリーの醤油としての特徴をPR。島そら豆の魅力や活動を発信。

喜界町農産物加工センター

鹿児島県大島郡喜界町湾1298番地

Tel : 0997-65-3666 Fax : 同左

あごん 阿権むらづくり委員会

世界自然遺産登録に向けた阿権の宝再発見



取組概要

- H22年に全住民で当委員会を設立。足元の宝を再発見し、集落資源として活用する活動を推進。「前里屋敷」、「平家の石垣」、樹齢300年のガジュマル、海ガメが産卵に訪れる「阿権浜」など集落資源の景観保全を推進。集落入口に集落資源の看板を設置。
- 婦人会によるエコツアーガイドの習得、小学児童が集落の宝をガイドする「島っ子ガイド」を実施。農家民宿、同敷地内のカフェや集落の情報発信拠点施設が連動して訪問客を受入。

活動成果

- 子供から高齢者まで集落行事に関わり、子どもを集落全体で育てる環境が生まれ、集落への誇り・郷土愛の醸成が図られた。
- 地域ぐるみの環境整備により集落資源が新たな名所となり、「島っ子ガイド」も児童目線でのガイドが好評。
- 農家民宿やカフェなど各施設の訪問客が他の施設も利用するなどの相乗効果や宿泊者と集落住民との交流拡大も図られ、訪問客が増加。

阿権むらづくり委員会

鹿児島県大島郡伊仙町阿権17755-1-1 Tel :